

千葉市スマートシティ推進ビジョンの実現に向けた

# 千葉市スマートシティプロジェクト

2025



令和7年3月  千葉市

編集・発行 / 千葉市総合政策局未来都市戦略部 スマートシティ推進課  
メールアドレス : smartcity.POF@city.chiba.lg.jp

## スマートシティプロジェクトの位置づけ

テクノロジーの活用などにより、市民生活の質の向上を図るとともに、持続可能なまちづくりを進めるため、目指すスマートシティの姿や取組みの方向性を地域住民や民間企業など、異なる役割を担う多くの主体と共有する「千葉市スマートシティ推進ビジョン」を令和4年3月に策定しました。

### ●千葉市が目指すスマートシティ

こちよく

ちょうどいい

## みんなでつくる「快・適」なまち！

**個別最適** …… あらゆる市民が自分に最適な暮らしを実感

**全体最適** …… 自然環境に配慮し、大切な資源を活かした、持続的な発展

**市民中心** …… 様々な主体が、地域の課題解決、新たな価値を創造



目指すスマートシティの実現に向け、あらゆる分野を市民(利用者)目線で、5つに分類し、市民ニーズや地域課題に基づく様々な取組みを分野横断的に順次実施していきます。

1. 暮らしがスマート!

2. ビジネスがスマート!

3. 学びがスマート!

4. まちがスマート!

5. 市役所がスマート!

「スマートシティプロジェクト」は、スマートシティ推進ビジョンの実現に向けて、現時点で予定している具体的な取組みごとに、「現状と課題」・「目指す姿」・「実現に向けた取組み」・「ロードマップ」を掲載したものです。スマートシティプロジェクト2025では、全37プロジェクトを掲載しています。

※スマートシティプロジェクトは毎年度更新します。

# 掲載プロジェクト一覧

★:リーディングプロジェクト **[NEW]**:新規プロジェクト

## 1. リーディングプロジェクト

No	名称	ページ
1 ★	市役所のスマート化の実現	4
2 ★	スマート動物園の実現	6
3 ★	スマート農業の推進	8
4 ★	ゼロカーボンシティの実現	10
5 ★	千葉開府900年に向けた取組み(都市アイデンティティの確立)	12
6 ★ <b>[New]</b>	デジタル人材の育成	14
7 ★	モビリティの活用による回遊性の向上	16
8 ★ <b>[New]</b>	AI等の先端技術を活用したインフラの維持管理	18
9 ★	ICT等の活用による健康づくりの促進	20

## 2. スマートシティプロジェクト

### 取組の方向性 1. 暮らしがスマート!

No	名称	ページ
1 ★	ICT等の活用による健康づくりの促進	23
2	シェアリングエコノミーの推進	24
3	多文化共生社会の実現	25
4	多様な関係者による幕張新都心のまちづくりの促進	26
5	地域コミュニティにおける活動の活性化	27
6	DXの推進による救急業務の効率化	28
7	eスポーツの活用促進	29

### 取組の方向性 2. ビジネスがスマート!

No	名称	ページ
8 ★	農業経営者の維持・拡大と流通の多様化	30
9	安定的・発展的な経済活動への支援(市内企業のDX推進)	31
10	介護人材の確保	32
11	市役所における多様な働き方の推進	33
12	創業者支援とイノベーション創出支援	34
13	ドローンの利活用促進	35

### 取組の方向性 3. 学びがスマート!

No	名称	ページ
14 ★ <b>[NEW]</b>	デジタル人材の育成	36
15	個別最適化された学びの実現	37
16	誰もが生涯にわたり学び続けられる環境づくり	38
17	デジタル格差(デジタルデバイド)の解消	39
18	デジタルミュージアムの推進	40
19	電子図書館(Digital library)の構築	41

### 取組の方向性 4. まちがスマート!

No	名称	ページ
20 ★	スマート動物園の実現	42
21 ★	ゼロカーボンシティの実現	43
22 ★	都市アイデンティティの確立	44
23 ★	幕張新都心の回遊性向上による賑わいの創出	45
24 ★	インフラなどの維持管理の効率化及び安全対策の強化	46
25	安全・安心なまちづくり	47
26	ウォーカブルの推進	48
27	美しいまちづくりの実現	49
28	(仮称)幕張海浜病院の整備	50
29	災害対応力の強化	51
30	多様な移動・交通サービスの提供	52
31	多様な観光客に対する質の高いサービスの提供	53
32	3D都市モデルの活用	54
33	MICE開催促進と新たな価値創造	55

### 取組の方向性 5. 市役所がスマート!

No	名称	ページ
34 ★	行かなくていい、待たなくていい、使いやすい市役所の実現	56
35 ★	一人ひとりのニーズに合った行政サービスの提供	57
36	市役所業務における先端技術の活用によるBPRの推進	58
37	データ利活用を通じた多様な主体との協働の推進	59

		ページ
参考	用語解説	60



1

# リーディングプロジェクト

リーディングプロジェクトとは  
スマートシティプロジェクトの中で、本市をさらに飛躍・発展させる  
シンボリックな取組みとして積極的に推進するプロジェクトです。

# LEADING PROJECT

## リーディングプロジェクト 1

## 市役所のスマート化の実現

→56・57ページにも関連の記事があります

## 1. 現状と課題

市民が市役所に  
合わせなければならない

- 市役所の指定する場所と時間でなければ手続きできない
- 窓口で多くの申請書を書かなければならない
- 窓口での丁寧な説明などのサービスを希望する市民は、窓口で待たなければならない
- 窓口での説明が不要な市民でも、窓口に行かなければならない



## 2. 目指す姿

行かなくていい、待たなくていい、  
使いやすい市役所

- 従来の窓口に加え、いつでも、どこからでもできる行政手続
- 親切で分かりやすく、手間をかけずに手続きできる窓口
- デジタル活用による多様な相談手法への対応

申請漏れによりサービスを  
受けられない可能性がある

- 忙しくて時間のない方が予防接種や健診の申請を忘れてしまう
- 制度を知らなかったことにより、制度利用の機会を逃してしまう
- 制度について検索したり、問い合わせることが負担

容易に必要なサービスが  
受けられる市役所

- 一人ひとりのニーズに合わせた情報の提供
- 利用手続の負担感がない行政サービスを提供



# リーディングプロジェクト 1

## 市役所のスマート化の実現

### 3. 実現に向けた取組み

#### 市役所への手続のオンライン化

- 来庁の手間を軽減するため、市役所への手続のオンライン化を推進
- オンライン申請が可能な手続のオンライン利用率を50%以上とする

#### 「あなたが使える制度お知らせサービス～For You～」の提供

- 市が保有する住民情報を活用し、各制度の受給対象となる可能性のある方に対し、LINEやメールのメッセージを通知するサービスを提供
- 個別にメッセージを送付することにより、受給漏れの防止を図る

#### 窓口業務の改善

- 手続きの負担を軽減するため、書かない窓口を導入する
- わかりやすく、迷わない窓口の実現のため、フロアレイアウトを見直す

### 4. 令和7年度の主な取組み

- より多くの方がオンライン化された手続に接することができるよう、更なる広報を行う
- 目的の手続に容易にたどり着ける仕組みの検討を行う

- お知らせの対象制度を柔軟に拡充できるように機能改修を行う
- 利用者拡大のために効果的なPRを行う



- 令和8年1月から区役所等で書かない窓口の運用を開始する
- 区役所等のフロアレイアウトを変更する



## リーディングプロジェクト 2

## スマート動物園の実現

→42ページにも関連の記載があります

## 1. 現状と課題

施設の老朽化



情報発信の方法や質・量が不十分

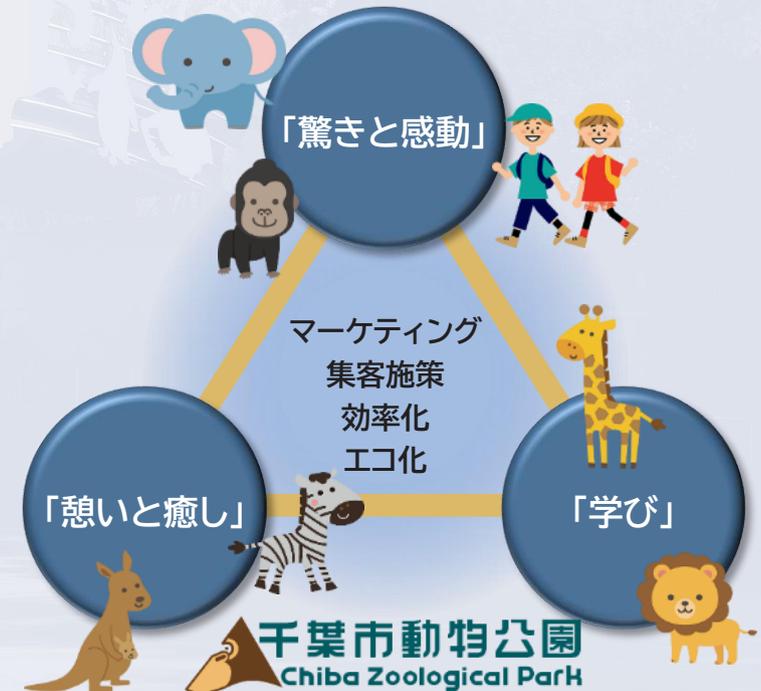


展示内容の陳腐化(展示手法の刷新)

顧客が期待する体験やサービス提供が不十分

上記の課題解決に向けて、平成26年3月「千葉市動物園リスタート構想」を策定し、「市民に身近な動物園としての存在と、都市の活性化につながる集客観光施設としての再生を図る」ことを基本理念とし、より愛され、親しまれる、市民生活に根付いた(共創・協創・交流)施設への刷新を推進中。

## 2. 目指す姿

魅力の減少  
入園者の減少

動物園としての社会的使命(種の保存、調査研究、教育・環境教育、レクリエーション)の高度化を図るとともに、来園者の満足度向上に向けて、最先端のテクノロジーやデータの活用など様々な時代に即した取組を実施し、常に進化し続ける動物園を目指します。

## リーディングプロジェクト 2

# スマート動物園の実現

### 3. 実現に向けた取組み

#### 1. 「驚きと感動」の創出

- 自動運転技術の活用  
(開かれた施設づくり)  
「オンライン動物園」  
「園内周回体験イベント」の開催



#### 2. 「憩いと癒し」の創出

- 井戸水を利用した屋外空調装置  
(通常の冷房を使った空調に比べ 約75%のCO<sub>2</sub>排出削減)(獣舎環境改善等、環境エンリッチメントへの応用)



#### 3. 「学び」の創出

- ICTやITサービスの活用
  - 二次元コードによる動物ガイド
  - 自動運転+動物ガイド
  - AIを活用した動物生態や展示環境の見える化
  - アプリやYouTubeの導入、SNSとの機能連携



#### 4. マーケティング・エコ&効率化

- 特殊菌を活用した動物の糞尿・残滓の消滅
- 脱炭素等に資する新規設備の導入
- アプリによる集客施策(プッシュメール・クーポン他の来園促進)

### 4. 令和7年度の主な取組み

- 動物科学館の学習展示施設リニューアルオープン

映像を大型モニターや天井、床、壁へ  
投影するなど最新映像(技術)を使った展示



- リモート環境を活用した新たな教育機会の創出  
リモート環境の活用領域拡充  
(病院内学級の子どもたちによる遠く操作ロボットを活用した動物園体験等の実施。老人介護施設等福祉プログラムへの展開)
- デジタルコンテンツ制作・配信強化  
動物解説の有料化(有料の動画配信サービスの検討)
- バイオマスボイラー整備

# リーディングプロジェクト 3

## スマート農業の推進

→30ページにも関連の記載があります

### 1. 現状と課題

#### 千葉市における農業経営者数の動向

年齢層	~29	30-39	40-49	50-59	60-69	70~	計
2005	1	26	147	442	533	710	1859
2010	1	11	94	362	433	645	1546
2015	0	9	48	163	395	475	1090
2020	1	19	30	109	275	477	911

出典：2005～2015 農林業センサス「販売規模別農業者数（販売農家）」  
2020 農林業センサス「経営主年齢階層別の経営体数（総数）」

#### 千葉市における農地の面積



この間、  
約10%の  
農地面積の  
減少

農業者の高齢化に伴い、農業経営者が減少傾向にあります。

また、農地も、年々減少傾向にあります。

農業経営者の維持拡大や農業の成長産業化に向けて、農業法人の参入や青年農業経営者の確保・育成を促進するとともに、農業現場の省力化・効率化を進めていくことなどにより、生産性を高めていくことが求められます。

### 2. 目指す姿



多様な意欲ある担い手の  
出現による活力ある農業の実現



先端技術を用いて省力化・効率化  
された、生産性の高い農業の実現



農業分野への活発な法人参入  
の実現



## リーディングプロジェクト 3 スマート農業の推進

### 3. 実現に向けた取組み

#### 1. 農政センターの機能強化



スマート農業技術を用いて、農政センター内でSDGsの社会情勢に沿った燃油削減実証実験を実施

#### 2. データを駆使した農業経営の支援



気候や栽培環境、収穫量や市況等のデータを総合的に見える化して活用する技術を農業技師が習得し、データを活用した農業経営をサポート

#### 3. スマート農業技術導入支援



農業の生産性向上や省力化、高品質生産に繋がるICTやロボット技術を活用した機器や農業機械の導入などに対する支援を実施

### 4. 令和7年度の主な取組み

- **スマート農業技術実証**  
農政センター内に整備した太陽光パネルの再生可能エネルギーを活用したトマト栽培の燃油削減実証
- **データを駆使した農業経営の支援**  
R5:施設園芸、R6:イチゴ(施設)、R7:トマト(施設)の事例研究により農業技師が習得したデータ活用型技術指導のスキルを定着化
- **スマート農業機器の貸出し**  
農政センターに導入した環境モニタリングシステムを農業者に貸し出し、農業技師の指導でスマート農業技術の導入を支援

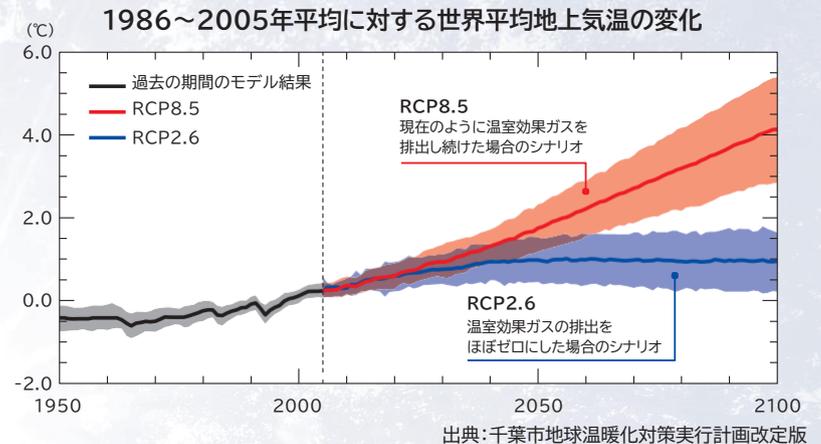
## リーディングプロジェクト 4

# ゼロカーボンシティの実現

→43ページにも関連の記載があります

### 1. 現状と課題

- 地球温暖化の更なる進行が懸念される中で、既に気候変動の影響は、気温の上昇、大雨の頻度の増加や、農作物の品質の低下、動植物の分布域の変化、熱中症リスク、物流への影響の増加など全国各地で起きており、さらに今後、長期にわたり拡大するおそれがある。
- 日常生活や事業活動における省エネルギーの取組みのほか、二酸化炭素を排出しないエネルギーへの代替を進めることで、脱炭素型の社会構築に取り組むことが求められる。
- また、既に影響を及ぼしている気候変動に対して、その影響を回避し、リスクを最小限に抑えるための備えが必要。



### 2. 目指す姿

- 住宅や建築物のエネルギー収支ゼロを目指すZEHやZEBに加えて環境性能がよい家電製品の普及促進やAIなど先進技術の活用を進めます。
- また、快適にエネルギーを効率よく利用するとともに、再生可能エネルギー活用の拡大など、様々な主体が総力を挙げて取り組むことにより、持続可能な社会に向けて、温暖化の主因といわれる二酸化炭素の排出を実質ゼロにするゼロカーボンシティの実現を目指します。



※2050年カーボンニュートラルに向け、新たに策定した千葉市地球温暖化対策実行計画では、「市域全体で2030年度までに2013年度比36%の温室効果ガス排出量の削減(業務、家庭、運輸の3部門の合計では48%の削減)」を目指します。



# リーディングプロジェクト 4

## ゼロカーボンシティの実現

### 3. 実現に向けた取組み

- 家庭、事業所における省エネの促進
- 建築物の省エネ化、ネットゼロ化の促進
- 再生可能エネルギーの創出、利用促進
- 次世代自動車利用に関する取組みの促進
- 水素エネルギーの活用
- 自立分散型エネルギーの確保
- 気候危機に対する行動変容の促進

### 5. 令和7年度の主な取組み

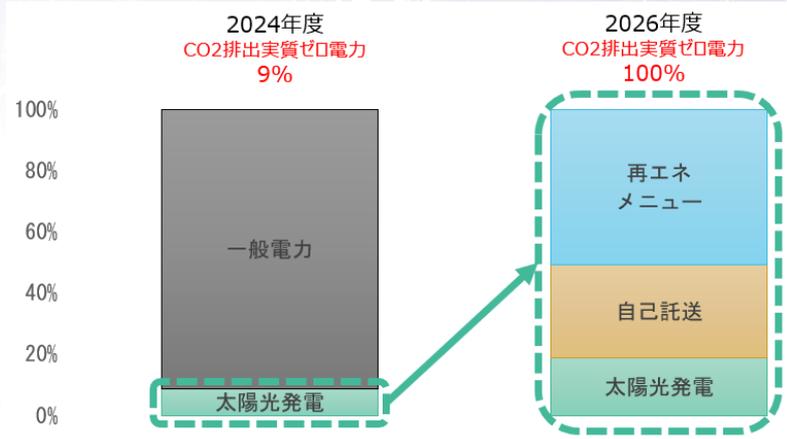
- 脱炭素先行地域に基づく取組推進
- 再生可能エネルギー等設備の普及促進
- EVなどの次世代自動車や充電設備の普及促進
- ZEH・ZEBの普及促進
- クールスポットなどの熱中症対策の推進
- 中小事業者向け省エネ設備の普及促進
- 脱炭素推進パートナー支援
- 環境教育の推進



千葉市脱炭素キャラクター  
イコ葉

### 4. 脱炭素先行地域事業

全ての市有施設(約750施設)の電力消費に伴うCO2排出実質ゼロの実現を目指し、電力需給を一元管理する独自システム(エリアエネルギーマネジメントシステム)の構築を進めています。これにより、目標である2030(令和12)年より前倒して2026(令和8)年度に達成できる見込みとなります。



## リーディングプロジェクト 5

# 千葉開府900年に向けた取組み(都市アイデンティティの確立)

→44ページにも関連の記載があります

## 1. 現状と課題

### 現状

- 令和8(2026)年度に、千葉開府900年を迎える。この機会に、市民・団体・企業など本市にかかわる多様な主体とともに記念事業を推進し、千葉市のよりよい豊かな未来につなげていく必要がある。
- 千葉開府900年は、本市の成り立ちを振り返るまたとない機会であり、この振り返りの中で、4つの地域資源についても重点的に取り上げることで本市固有の歴史やルーツに根差した都市アイデンティティを共有できるよう進めていく。

### 課題

- 千葉開府900年の周知啓発
- 4つの地域資源について、若・中年層や女性の好意度・理解度が低い
- 各種イベント・プロモーションの固定化による魅力の低下

**千葉開府900年**

千の葉に 時を刻んで 900年

千葉開府900年記念ロゴマーク  
・キャッチコピー

## 2. 目指す姿

- 千葉開府900年の基本理念の実現  
「千葉一族からの学びを活かし、未来へ向けたひとづくり、文化づくり」
- 「都市アイデンティティ」の確立  
住み続けたい、住んでみたい、訪れてみたい、そして「選ばれる都市」へ

### 【参考「千葉開府900年」】

平安時代後期、大治元年(1126年)の6月1日に、桓武天皇のひ孫高望王(たかもちおう)(後に平高望)の子孫、常重(つねしげ)は現在の緑区大椎(おおじ)町から中央区亥鼻(いのはな)付近に本拠地を移し、初めて「千葉」と名乗りました。これをもって千葉のまちとしての歴史が始まったとされています。

本市では、6月1日を「千葉開府の日」と位置づけ、大正10年の市制施行以降、千葉開府800年(大正15(1926)年)、850年(昭和51(1976)年)に千葉開府の記念事業を行ってきました。

## リーディングプロジェクト 5

# 千葉開府900年に向けた取組み(都市アイデンティティの確立)

### 3. 実現に向けた取組み

- 千葉氏VRゲームによるプロモーション
- クラウドファンディングを活用した4資源や千葉開府900年関連の新商品開発・事業化支援



VRゲーム体験会の実施



千葉氏VRゲーム「月星の記憶」  
(令和5年度千葉市スマートシティ実証事業)

### 4. 令和7年度の主な取組み

#### 千葉開府900年に向けた準備及びプロモーション

- 記念式典や千葉開府900年記念まつり、パレードの準備等
- デジタルコンテンツの制作
- メンバーシップ登録制度運用
- 市内での各種プロモーション

#### 都市アイデンティティの確立

- 4つの地域資源の魅力ある新規コンテンツづくり  
⇒クラウドファンディングを活用した事業化支援の実施により、4つの地域資源や千葉開府900年関連をテーマにした新商品の開発を行う。
- 千葉市らしさのプロモーション  
⇒各種イベントを活用したプロモーションを行うことで4つの地域資源の好意度・理解度向上を図る。

## リーディングプロジェクト 6

# デジタル人材の育成【NEW】

→39ページにも関連の記載があります

## 1. 現状と課題

### 現状

- 少子高齢化と労働力不足
- あらゆる分野での急速なデジタル化の進展
- デジタルを活用するスキルを持った人材が不足

### 課題

- デジタル技術を活用して、企業や社会に新しい価値を創造する「デジタル人材」を育成することが不可欠である。具体的には、AIやビッグデータ、IoTなどのデジタル技術を理解し、データ分析・活用能力、コミュニケーション能力及びチームワーク能力などデジタル技術に関する知識・スキルの育成が必要である。

## 2. 目指す姿

- 産官学の連携により、千葉市に携わるあらゆる世代の人々の好奇心を掻き立てながら、課題解決に必要なテクノロジーへの理解を高める「**デジタルラボ=学びの場**」を提供していくことで、小学校・中学校・高等学校・大学の教職員や子どもたち、また千葉市内の企業も対象に、デジタルを活用する人材を一人でも多く増やしていく。

### デジタル人材育成の流れ



小中高



高等教育機関



地域企業・自治体





# リーディングプロジェクト 6

## デジタル人材の育成【NEW】

### 3. 実現に向けた取組み

### 「デジタルラボ」を活用した人材育成

千葉市民のデジタル対応力(デジタルレディネス)を高めるため、産官学連携し、デジタル人材育成を行います。

	STEAMラボ	Creativeラボ	AIラボ	DX/DcXラボ
目的	STEAM 教育	デジタルコンテンツ制作	AI教育	DX/DcX研修
提供	教材提供と教員研修の実施 eスポーツにも利用可能な環境の構築支援	制作環境の構築支援 グローバル・コミュニティとの連携	AI教育教材提供とAI研修の実施	社員・職員向けの研修教材提供と研修実施
主な対象	・市内の小中学校・高等学校の児童・生徒・教員	・市内のクリエイター ・市内の専門学校・大学などの学生	・すべての市民 ・市内の団体・企業の職員・社員 ・行政職員	・市内の団体・企業の職員・社員 ・行政職員

### 4. 令和7年度の主な取組み

- eスポーツなどを活用した人材育成プログラム
- 小・中・高校生向けデジタル人材育成講座
- 地域企業経営者向けデジタル化・DXセミナー
- 教職員向けGIGA端末、テクノロジー活用等に関する研修
- 職員向けデータ分析・AI研修





# リーディングプロジェクト 7

## モビリティの活用による回遊性の向上

→45ページにも関連の記載があります

モビリティの活用によるまちの回遊性向上をはかるため、幕張新都心において先行的な取組みを推進します。

### 1. 現状と課題



各拠点間に一定の距離があり、来街者の多くはJR海浜幕張駅・幕張豊砂駅と目的施設との「単純往復」が多く、周遊促進による活性化が求められます。

### 2. 目指す姿



モビリティを始めとするテクノロジーの活用により、エリア内のすべての人が拠点間をストレスなく行き来し、様々なサービスを容易に利用できる賑わいあふれるまちの実現を目指します。

# リーディングプロジェクト 7

## モビリティの活用による回遊性の向上

### 3. 実現に向けた取組み

#### 自動運転バスの運行

- 自動運転バスの社会実装により、人的コストの最小化と、安全安心な送客の実現を目指す
- デジタルツインの活用により、仮想空間で様々な走行条件や車両での検証を実施し、自動運転の社会実装を加速させる



仮想空間上で再現した海浜幕張駅前

### 4. 検討主体 ▶ 幕張新都心モビリティコンソーシアム

移動サービスを中心に、商業やスポーツ、観光等幕張新都心の発展に寄与する事業を推進するための産官学民による団体



#### MaaSの検討

- JR幕張豊砂駅の開業を契機とした回遊性向上の取組みを開始
- 多様なモビリティサービスと幕張新都心の宿泊・観光・購買・医療サービス等を一体的に提供するサービスの実現を目指す

#### パーソナルモビリティシェアリングサービスの提供

- 自動送迎・無人回収可能なシェアリングサービスを提供
- ラストワンマイルの移動手段を整備



### 5. 令和7年度の主な取組み

#### ■ 自動運転車サービス実証

現実世界を再現した仮想空間上と現実空間における検証を組み合わせた自動運転実証を実施

#### ■ 未来技術モビリティ等社会実装サポート

未来技術を活用したモビリティサービスの社会実装を実現するため、民間事業者による実証実験を支援



# リーディングプロジェクト 8

## AI等の先端技術を活用したインフラの維持管理

→46ページにも関連の記載があります

### 1. 現状と課題

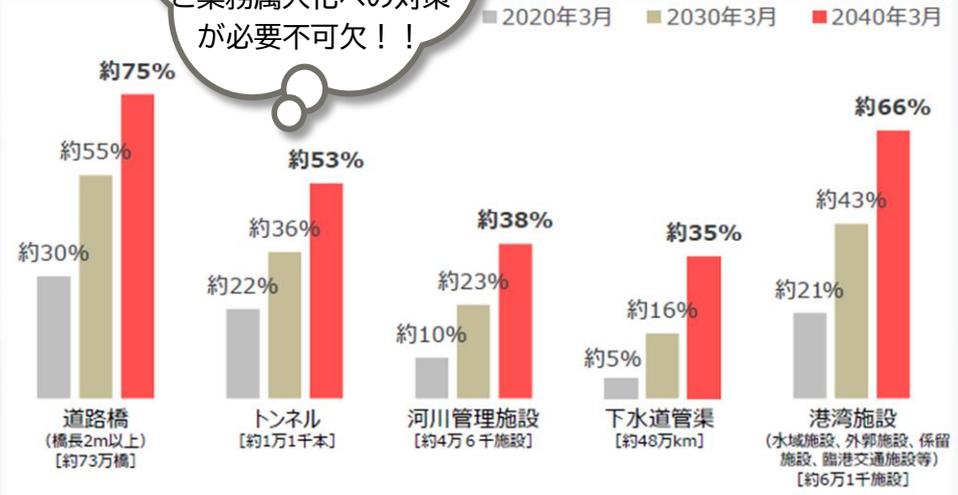
#### ●国内インフラ施設・設備の現状

道路や上下水道などの社会インフラ施設・設備は、市民の安全・安心や社会活動の基盤であり、そのインフラ機能が発揮されるよう、適切な維持管理が重要である。しかし、既存の施設・設備の多くは高度経済成長期頃に整備されており、今後、建設から50年以上経過する施設が加速度的に増加することが見込まれ、老朽化による不具合なども懸念されている。

#### ●担い手不足への対応の必要性

老朽化する社会インフラ施設・設備が増加していく中で、適切な維持管理を継続的に行うためには、点検や修繕等を効率的に実施する就業者の確保が必要となる。しかし、こうした技術ノウハウを持つ技術労働者が不足しており、社会インフラ施設・設備への点検・保守業務の生産性向上は喫緊の課題である。

インフラ施設は老朽化。維持するには、人材不足と業務属人化への対策が必要不可欠！！



【建設後50年以上経過する社会資本の割合】

出典：国土交通省「国土交通省におけるインフラメンテナンスの取組」資料参照

### 2. 目指す姿



AI(画像解析技術など)やドローンなどの先端技術の活用によるインフラの維持管理及び安全対策の強化



官民が連携した共創領域の拡充(インフラ企業連携)



時代の潮流に合わせた  
インフラ維持管理の最適化による  
生産性の向上・安全なまちづくりの実現

## リーディングプロジェクト 8

## AI等の先端技術を活用したインフラの維持管理

## 3. 実現に向けた取組み

先端技術の活用によるインフラ維持管理

官民が連携した共創領域の拡充  
(インフラ企業連携)

- 行政が行う道路や上下水道などのインフラ施設の維持管理における課題やニーズの抽出
- 画像MMS(モバイルマッピングシステム)やAI(画像解析技術)、ドローン活用などの先端技術の活用検討
- 民間企業等が管理するインフラ施設・設備や保有する先端技術等と千葉市が管理するインフラ施設・設備等のマッチング検討

## 4. 令和7年度の主な取組み

画像MMS(モバイルマッピングシステム)やAI等を活用した  
市内のマンホール蓋の効率的な維持管理

画像MMS車両において撮影した画像からマンホール蓋の緯度経度を抽出し、千葉市で保有している下水道台帳データと突合した上で、AIを用いてマンホール蓋の型式判定等を行い、効率的なマンホール蓋の維持管理を行う。

①画像MMS走行  
(マンホール蓋  
画像撮影)②マンホール蓋  
画像抽出  
(全景及び拡大)④AI判定～解析  
(人による判定との  
比較による検証)③抽出画像と  
マンホール番号の  
括り付け  
(リネーム)ICT・AI技術を活用した道路等の  
インフラ施設点検

先端技術を活用し、道路上のひび割れやポットホールなどの情報を収集し、道路管理者へ速やかに通知する点検システムの導入検討や本市が管理する道路の橋梁について、ドローン等を活用した点検を行うなど、効率良い道路のインフラ施設の点検方法を検討する。

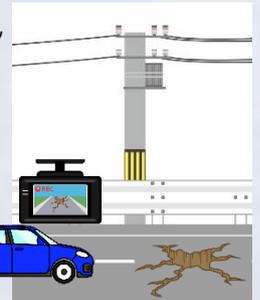


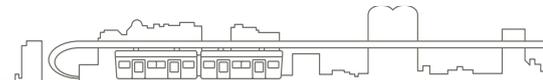
ドローン

インフラ施設・設備管理をDX化



ドライブレコーダー





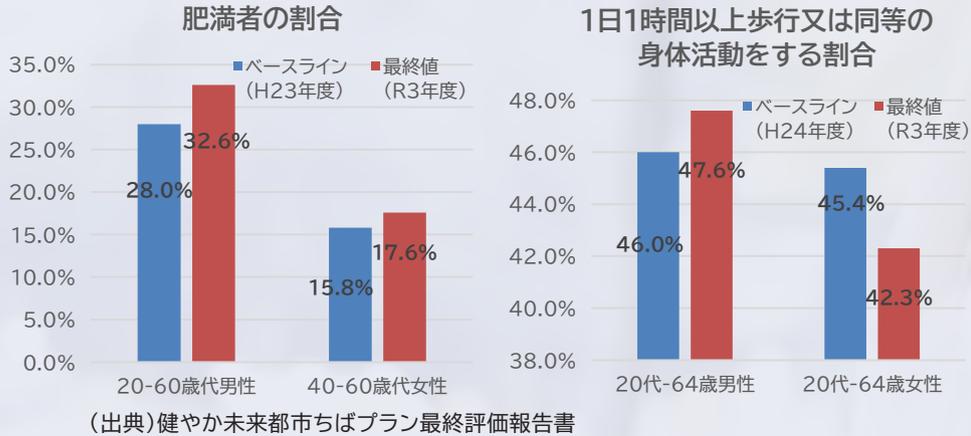
# リーディングプロジェクト 9

## ICT等の活用による健康づくりの促進

→23ページにも関連の記載があります

### 1. 現状と課題

就労世代の健康づくりへの取組みが進んでいない  
(健康無関心層を含めた市民の行動変容が重要)



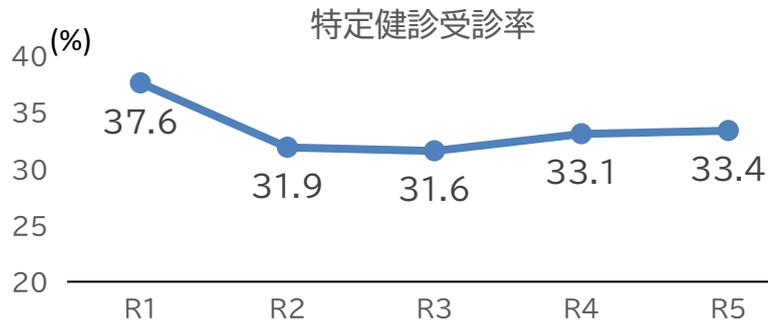
### 2. 目指す姿

日々の生活の中で継続して  
健康づくりに取り組んでいる

- 肥満を予防し適正体重を維持する健康的な食生活について理解し実行している
- 自分に必要な身体活動量を知り、日常生活の中でウォーキング等に継続して取り組んでいる
- 運動に関する正しい知識を身につけ、自分に合った運動を行っている



健診受診率が低い(40%以下)  
(生活習慣病予防の啓発が必要)



定期的に健診受診や必要な医療を受け、  
自ら健康行動をとることができる

- 定期的に健診を受け、自身の健康状態を把握している
- 特定健診の結果、特定保健指導の対象となった市民が、生活習慣の改善に取り組み、体重または腹囲の減少を実感し、その取組みを継続できる
- 健診の結果、医療が必要な市民や、糖尿病等で既に治療中の市民が、自身の健康状態を理解し、重症化予防のために必要な行動をとっている



## リーディングプロジェクト9

### ICT等の活用による健康づくりの促進

#### 3. 実現に向けた取組み

##### 人々が主体的かつ継続的に健康づくりに取り組むための環境整備

- 健康づくりの取組みへのインセンティブ付与
- 健康づくりの取組みに、一人でも参加、継続しやすくなるツールの検討
- 企業や関係団体と連携した職場における健康づくりの推進



##### 健康への関心・意識の改革

- 継続的に健診受診をする意識や受診行動を促進できるような環境づくり
- 生活習慣の改善や健康意識、参加意欲の高まる保健指導・プログラムの企画、魅力的なツールの提供
- 健診結果を踏まえ、重症化予防のため、継続的な治療と生活習慣予防の行動を促す仕組みづくり



#### 4. 令和7年度の主な取組み

##### 新たな健康インセンティブ事業の検討

- 就労世代の健康づくりを推進するためICTの活用等による魅力的で参加しやすい、健康づくりのためのツールを検討



##### ICTを活用した特定保健指導の実施

- ICT(ウェアラブル端末)の活用など取り入れた継続的な特定保健指導の実施



# 2

## スマートシティプロジェクト

### 千葉市が目指す5つのスマート

- 1. **暮らしがスマート!** ..... 23~29
- 2. **ビジネスがスマート!** ..... 30~35
- 3. **学びがスマート!** ..... 36~41
- 4. **まちがスマート!** ..... 42~55
- 5. **市役所がスマート!** ..... 56~59

### スマートシティプロジェクトとは

スマートシティ推進ビジョンの実現に向けて、現時点で予定している具体的な取組みであり、プロジェクトごとに「現状と課題」・「目指す姿」・「実現に向けた取組み」・「ロードマップ」を掲載しています。

※ロードマップは制度改正や予算措置の状況などにより変更の可能性がります。

# SMART CITY PROJECT

# 1. 暮らしがスマート!

No.1

## ICT等の活用による健康づくりの促進

現状と課題

就労世代が健康づくりを行動化できていない(健康無関心層の行動変容が重要)

特定健診受診率が低い(40%以下)。生活習慣病予防の啓発が必要



目指す姿

運動づくりについての理解を深め、自分にあった運動や適正体重維持に取り組む

定期的に健診を受診するなど、自身の健康状態を把握し、生活習慣病予防に必要な行動を実施

日常生活において継続的な健康づくりの取り組みを実施

健診結果を踏まえて必要な健康行動を行っている

実現に向けた取組み

- 1 就労世代の健康づくりを推進する新たな健康インセンティブ事業等の検討
- 2 ICTを活用した特定保健指導の実施



ロードマップ



# 1. 暮らしがスマート!

## No.2 シェアリングエコノミーの推進

現状と課題

活用可能な資産(場所・モノ・スキルなど)を保有しているのに、活用できていない

場所・モノ・スキルなどの活用希望はあっても、どのように探したら良いかわからない



目指す姿

シェアリングエコノミーの推進

場所・モノ・スキルなど、  
遊休資産のシェア促進

利用者の安全・安心の確保  
(懸念・不安の軽減)

少子高齢化や地球温暖化などの課題解決に向けた  
エコロジーでサステナブルな社会への貢献

実現に向けた取組み

シェアリングエコノミーの普及促進・活用支援

- シェアリングエコノミーを活用した市施策との連携
- シェアリングエコノミー活用事例などの周知を通じた認知度の向上

実施事例



【空間のシェア】  
イベントホームステイ



【スキルのシェア】  
体験提供



【お金のシェア】  
クラウドファンディング

ロードマップ

令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)
-------------------	-------------------	-------------------	--------------------	--------------------

市施策との連携・民間での活用活性化

# 1. 暮らしがスマート!

No. 3

## 多文化共生社会の実現

現状と課題

外国人市民の増加、  
ニーズへの対応の複雑化



言語の多様化や外国人市民の  
ニーズへの適切な対応が必要

- 多言語による各種情報の提供、相談対応
- 行政手続きの多言語化、オンライン化
- 日常生活における通訳ニーズへの対応
- 災害時、非常時の外国人市民支援

目指す姿

ICTの活用により、  
多言語による  
情報発信・相談対応を強化



国籍を問わずすべての  
外国人が滞在しやすい、  
暮らしやすいまちに

実現に向けた取組み

- 市・国際交流協会HPの多言語化を行うとともに、外国人市民からの問合せに対して、AIチャットボットなどで対応
- 行政手続フォーマットの多言語化
- 多言語音声翻訳アプリやビデオ通話アプリを活用したタブレット端末などによる窓口サービスなどの充実
- コミュニティ通訳・翻訳サポーター制度、多言語コールセンターによる三者間電話通訳対応
- ビッグデータを用いて外国人の居住地や国籍を分析し、行政・生活情報の効果的な発信や災害ボランティア派遣に活用

ロードマップ

令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)
-------------------	-------------------	-------------------	--------------------	--------------------

実施

## 1. 暮らしがスマート!

## No. 4 多様な関係者による幕張新都心のまちづくりの促進

現状と課題

- 生活様式や価値観の多様化、生活に関するニーズの高度化に伴う、環境や安全・安心への関心の高まり
- 施設の維持管理・運営コストの低減や効率的な管理が必要
- 幕張新都心ならではの、地域資源を活かした取組みが必要



多様な関係者が連携・協働し  
持続可能な都市経営を目指す  
新たな仕組みづくり

目指す姿



地域価値の維持・向上、新たな地域価値の創造  
シビックプライドの醸成  
地域のブランド力向上・イメージアップ

実現に向けた取組み

## まちづくり連携促進

- 1 ■ 幕張新都心中心地区で活動する多様な関係者が一体となってまちづくりを進めるため、まちの価値を維持・向上させるためのエリアマネジメント組織を組成・育成する
- 2 ■ SNS等による情報発信により、まちの誇りや愛着、共感を持ち、積極的に関わっていこうとする気持ちを高め、まちづくりの連携を促進する

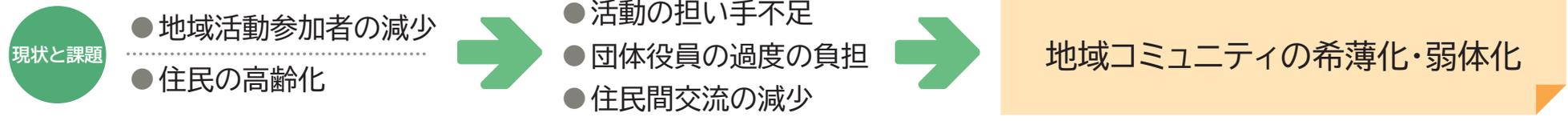
## ロードマップ

	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)
1	エリマネ検討・実証実験	エリマネ立ち上げ・始動・活動の充実			
2	情報発信				

# 1. 暮らしがスマート!

No. 5

## 地域コミュニティにおける活動の活性化



**実現に向けた取組み**

**町内自治会活動の推進**

- ICTによる地域活動の効率化(研修・出前講座等の実施)
- 広報活動の充実を図るため、SNSなどを活用した情報発信の支援
- 町内自治会マップの電子化

**多様な主体の情報共有に向けた支援**

- 地域で活動する団体同士の連携促進
- 地域情報の見える化の推進



# 1. 暮らしがスマート!

No. 6

## DXの推進による救急業務の効率化

現状と課題

- 救急出動件数は救急業務開始以来、継続的に増加 ※2060年頃をピークと予測
- 救命率の向上を図るため、救急隊の現場到着や病院収容までの時間短縮が必要



DXを推進し  
救急業務を効率化

目指す姿



DXを推進し  
受入れ先の医療機関との  
迅速にマッチング



動画像の活用により  
医療機関等への  
情報伝達が効率化

救急業務を効率化し、  
迅速に医療機関へ搬送



実現に向けた取り組み

1

救急情報共有システムの運用・検証及び機能強化

救急隊の端末でOCR(光学文字認識)機能等の技術を活用して傷病者情報をより素早く入力し、搬送先候補の医療機関端末に一斉送信・照会するほか、利用者の意見や検証を踏まえて機能強化を図る。

2

動画像の活用による情報伝達の効率化

救急現場の状況を動画像で搬送先候補の医療機関や指令センター常駐医師に共有することで、傷病者の情報や処置に関する情報伝達を効率化する。

ロードマップ

令和7年度  
(2025年度)

令和8年度  
(2026年度)

令和9年度  
(2027年度)

令和10年度  
(2028年度)

令和11年度  
(2029年度)

第3期救急情報共有システム運用

# 1. 暮らしがスマート!

No. 7

## eスポーツの活用促進

現状と課題

国内でも社会的認知が進み、市場規模やファン数が拡大、年齢や性別・国籍・障害等の壁を超えて、誰もが参加出来るコミュニケーションツールとしての利用が進んでいる

目指す姿

eスポーツイベントが新たな観光コンテンツとなるとともに、まち全体でeスポーツをきっかけとしたさまざまな取り組みが展開される

イベント開催による  
賑わい創出と  
経済活性化

学ぶ機会や  
活躍の場の創出

高齢者の生き  
がづくり・  
フレイル予防

eスポーツが持つ特性・可能性を、千葉市の特徴と組み合わせ、地域課題の解決に活かす方策を検討し、新たな価値創造へつなげる



実現に向けた取組み

### 1 eスポーツイベント開催の誘致・支援

市内施設を活用したイベント開催に対する補助制度の活用や積極的な広報を実施し、観光需要やまちの賑わいを創出する。

### 2 学生等に対する人材育成の支援

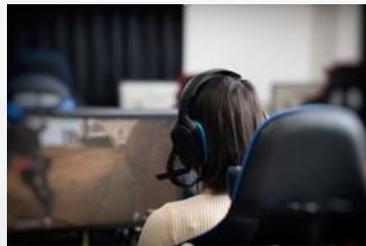
官学民の連携により、eスポーツを学ぶ機会を創出し、若者が活躍するための人材育成プログラムを実施する。

### 3 eスポーツの活用による高齢者の生きがづくり

いきいきプラザ・センター(高齢者施設)にてeスポーツの体験会、講座、世代間交流会などを開催し、生きがづくりやフレイル予防につなげる。

ロードマップ

	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)
1	随時実施				
2	実施				
3	実施				





## 2. ビジネスがスマート!

No. 8

# 農業経営者の維持・拡大と流通の多様化

現状と課題

農業経営者の減少及び高齢化の進展



- 青年農業経営者の確保・育成
- 農業現場の省力化・効率化の実現
- 農業の生産性の向上

直売所の売上増やフードテック企業の浸透など、消費行動の多様化に対応した多様な流通手段の実践が不足



- 消費行動の多様化の進展に対応した農産物・加工品の流通手段の多様化

目指す姿



多様かつ意欲ある担い手の出現による活力ある農業の実現



先端技術を用いて省力化・効率化された、生産性の高い農業の実現



流通手段の多様化による市内産農畜産物の販売促進



実現に向けた取組み

### 農政センターの機能強化

- 1 スマート農業技術を用いて、農政センター内でSDGsの社会情勢に沿った燃油削減実証実験を実施

### データを駆使した農業経営の支援

- 2 R5:施設園芸、R6:イチゴ(施設)、R7:トマト(施設)の事例研究により農業技師が習得したデータ活用型技術指導のスキルを定着化

### スマート農業技術導入支援

- 3 農業の生産性向上や省力化、高品質生産に繋がるスマート農業技術を活用した機器や農業機械の導入などに対する支援を実施

### 市内産農畜産物の流通手段の多様化

- 4 ネットスーパーなどのECサイトや食品流通に係るフードテック関連企業との連携、農業者と加工・飲食店などの事業者間の結び付け、流通事業者とのマッチング支援により、農業者の流通手段の多様化を支援

ロードマップ



## 2. ビジネスがスマート!

# No. 9 安定的・発展的な経済活動への支援(市内企業のDX推進)

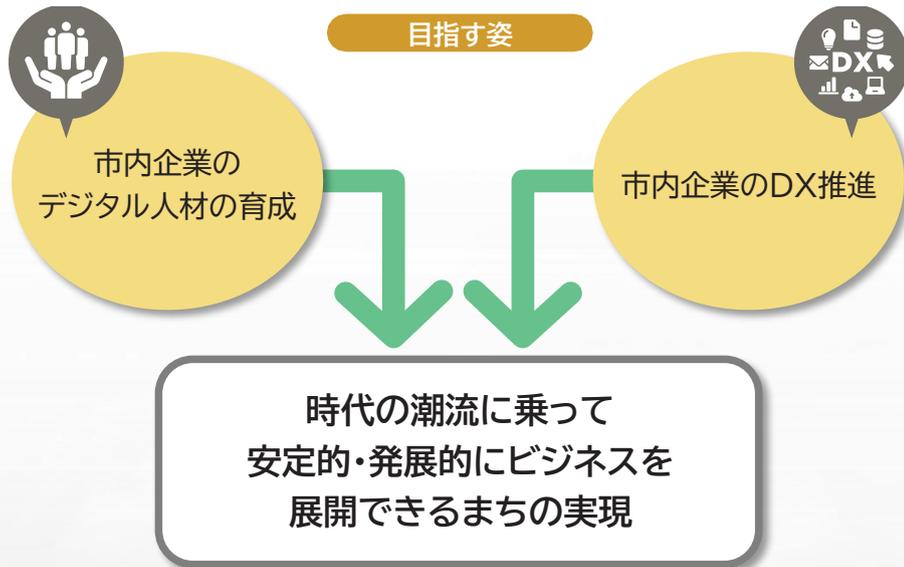
現状と課題

- 物価高騰や人手不足等による厳しい経営環境
- あらゆる分野においてデジタル化が浸透・進展



大きな社会変化に対しても  
力強く成長する事業者を支援

目指す姿



実現に向けた取組み

- 市内企業のDX推進支援**  
市内企業の業務効率性・生産性の向上の観点から、AIやRPAの導入など、市内企業によるDXの取組みを支援
- 市内企業のデジタル人材育成支援**  
市内企業のDX化を加速させるデジタル人材の育成を支援



ロードマップ



# 介護人材の確保

現状と課題

1 高齢化の進行



介護サービスの需要増加

2 生産年齢人口の減少



介護人材の不足



目指す姿

最新技術  
活用による介護現場  
の負担軽減



必要な介護サービスが提供され、  
高齢者が安心して暮らせるまち



## 実現に向けた取組み

- 1 介護事業者と介護ロボット開発事業者等が連携するなど介護ロボットを介護の現場で積極的に活用
- 2 介護ロボットの普及に向けたセミナー等による周知・啓発
- 3 介護ロボット・ICT活用による業務効率化及びペーパーレス化の推進

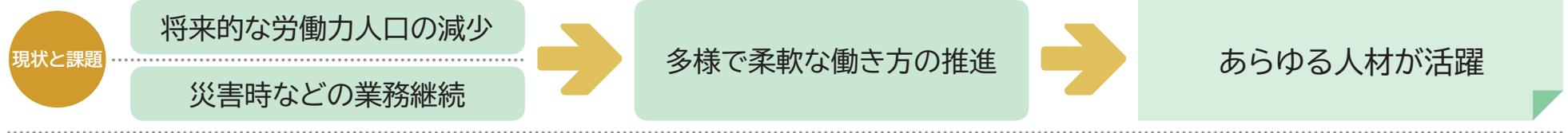
## ロードマップ

	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)
1	実施				
2		実施			
3		実施			

## 2. ビジネスがスマート!

No. 11

# 市役所における多様な働き方の推進



**実現に向けた取組み**

- 1 テレワークの推進
- 2 多様な勤務時間制度の推進、多様な働き方に対応したマネジメントの浸透(適切な業務・サービス管理)
- 3 ペーパーレスに適した環境の推進
- 4 コミュニケーションツールの高度化

**ロードマップ**

	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)
1			推進		
2			検討		
3			推進		
4			運用		



## 2. ビジネスがスマート!

No. 12

# 創業者支援とイノベーション創出支援

現状と課題

- 人口減少に伴う市内総生産減少が懸念される
- テクノロジーの進展や地域課題・消費者ニーズの変化に対応した企業活動が求められる

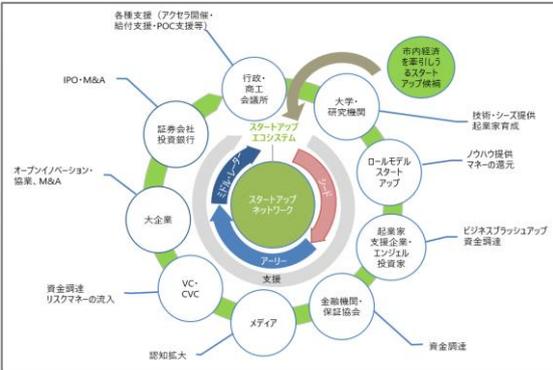


地域経済の担い手を増やすとともに、新たな商品・サービス開発、新たなビジネスへの転換などを促進

### 目指す姿

千葉市スタートアップ・エコシステム

千葉市アクセラレーションプログラム



### 実現に向けた取組み

#### 創業者支援体制の強化とスタートアップの育成支援

1 「千葉市スタートアップ・エコシステム」により、市内関係機関と連携しながら、個別の成長支援プログラム実施のほか、多様な創業形態や事業成長ステージに応じた各種支援を提供

#### イノベーション創出の支援

2 多様な主体が交流することにより、新たな価値や高い付加価値を生み出すためのイノベーション拠点の整備や、外部人材活用による新事業展開の取組みを促進

創業及び事業成長 環境の整備

多様な主体の連携によるイノベーションや新事業の創出を支援

創業者の集積や地域経済を牽引する企業の輩出を促し、新たなビジネスを生み育て、新たな価値の創出を目指す。

### ロードマップ

	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)
1	実施				
2	実施				

## 2. ビジネスがスマート!

No.13

# ドローンの利活用促進

現状と課題

- 物流、点検、農業、警備業務などの人材不足
- 様々な社会課題を踏まえた対応



国家戦略特区としての優位性を活かした都市部でのドローン飛行、実用化の推進



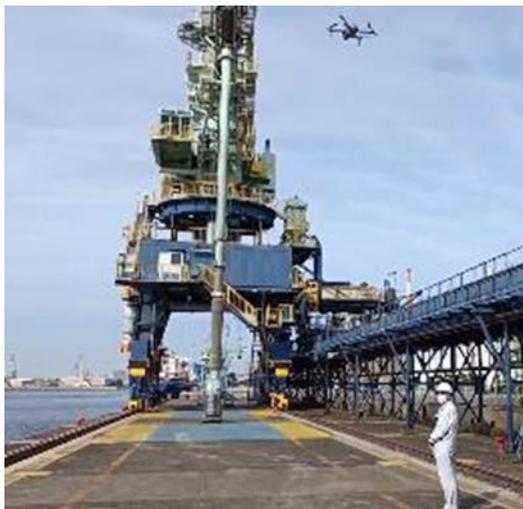
都市部上空飛行の実現

目指す姿



あらゆる分野での利活用促進

ドローンによる新ビジネス創出を支援し  
「空の産業革命」ドローン産業の一大集積地  
「千葉市」を目指す!



実現に向けた取組み

### 1 ドローン利活用促進

ドローンを活用した業務の高度化及び効率化の支援や、様々な社会課題に対応するための取組みを進めていく。

### 2 施策の横展開

上記取組みをセミナーなどにより、全国の自治体、企業へ広げること、ドローン産業の振興を図る。

ロードマップ

	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)
1	検討・実証・実施				
2	実施				

1

検討・実証・実施

2

実施

### 3. 学びがスマート!

## No. 14 デジタル人材の育成【NEW】

現状と課題

あらゆる分野におけるデジタル化の発展

少子高齢化の進行による人材不足

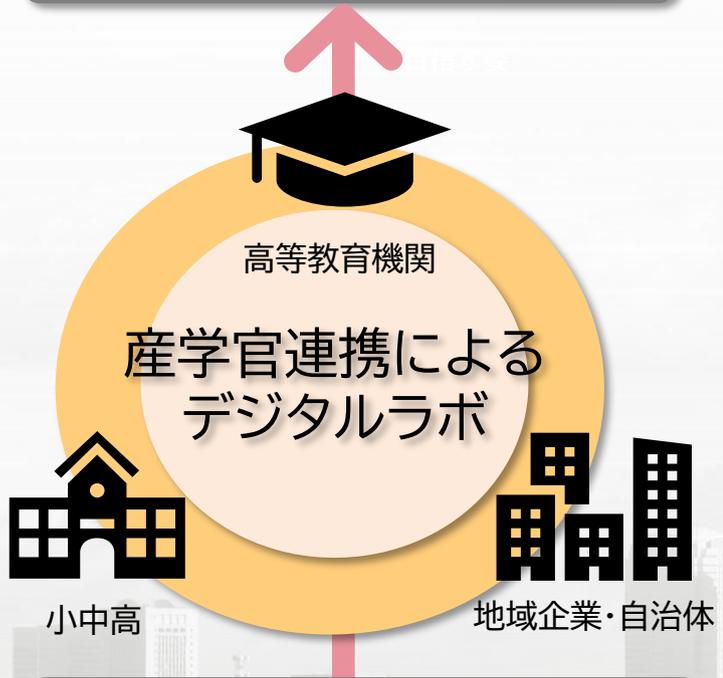


持続的なまちづくりに必要なデジタル技術への対応力を持った人材育成が必要



目指す姿

市民全体のデジタル対応力を向上



産学官連携による「デジタルラボ」  
= 学びの場に小中高・高等教育機関  
・地域企業・自治体が参加

実現に向けた取組み

- 地域事業者向けDXセミナー**  
市内企業の業務効率性・生産性の向上の観点から、AIやRPAの導入など、DX化を加速させるデジタル人材の育成セミナーを実施する
- 小・中・高のSTEAM教育推進**  
児童生徒の資質能力を育成する“学習者中心の授業”のデザインを学ぶ教職員向け研修の実施や児童生徒が先端技術に触れる機会を創出する
- eスポーツによるデジタル人材育成**  
eスポーツを学ぶ機会を創出し、若者が活躍するための人材育成プログラムを実施する
- 市役所のDX、AI人材育成研修**  
課題解決能力の向上に資する職員向け研修として、データ分析研修やAI研修を開催する

ロードマップ

	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)
1			実施		
2			実施		
3	検討		実施		
4			実施		

### 3. 学びがスマート!

No. 15

## 個別最適化された学びの実現

現状と課題

Society5.0社会の進展、グローバル化の加速



多様な人々と協働しながら主体的に考え、行動できる力の育成

子どもを取り巻く環境の変化



すべての児童生徒の可能性を最大限引き出す学習環境の整備

目指す姿

学力状況の的確な把握

個別最適化された学びの実現

先進技術を取り入れた授業展開

多様な学習形態の選択・工夫

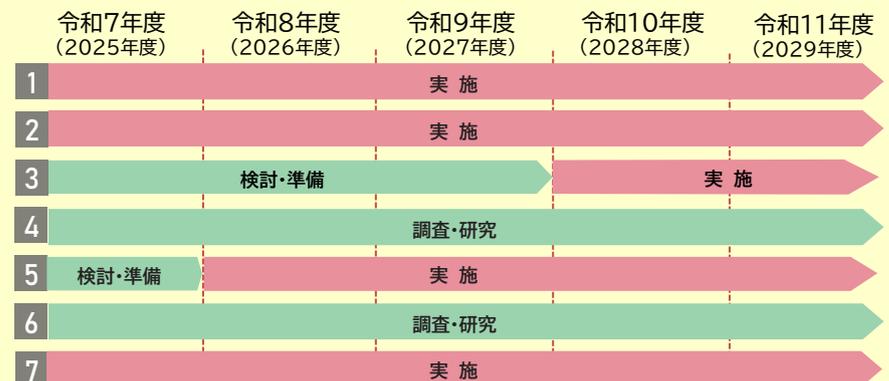
- 科学的視点と教員の経験知のベストミックス
- 個々の能力などに対応したオーダーメイド型教育
- 効果的・効率的な授業(わかる授業)の展開
- 学習のハイブリッド化(対面⇔オンラインなど)



実現に向けた取組み

- 1 オンライン授業の展開(ゲストティーチャーなどの活用)
- 2 意見・回答の即時共有を通じた効果的な協働学習
- 3 指導者用デジタル教科書の整備
- 4 児童生徒の状況のセンシングなどによる把握
- 5 知識・技能の定着を支援する個別最適ドリル (GIGAスクール構想第2期)
- 6 学習ログの蓄積・活用
- 7 子どもルーム・アフタースクールのWi-Fi環境整備

ロードマップ



### 3. 学びがスマート!

No. 16

## 誰もが生涯にわたり学び続けられる環境づくり

現状と課題

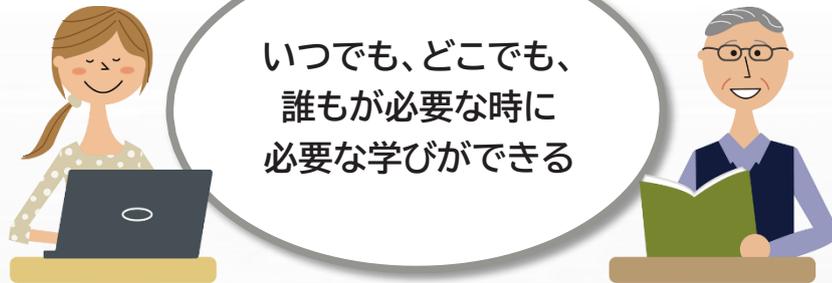
生涯学習センター、公民館における

- ・利用者数の減少、利用者の固定化・高齢化
- ・施設のICT環境整備



- ・勤労者、子育て世代を中心とした新たな利用者の発掘
- ・新しい受講スタイルの構築

目指す姿



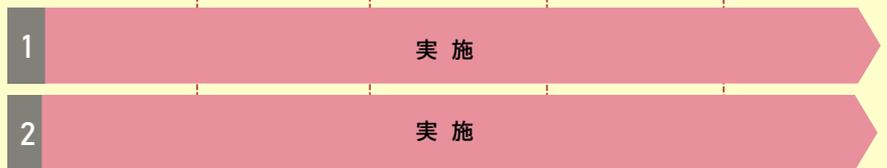
実現に向けた取組み

- 1 オンラインによる生涯学習講座の実施
- 2 学習用動画の配信



ロードマップ

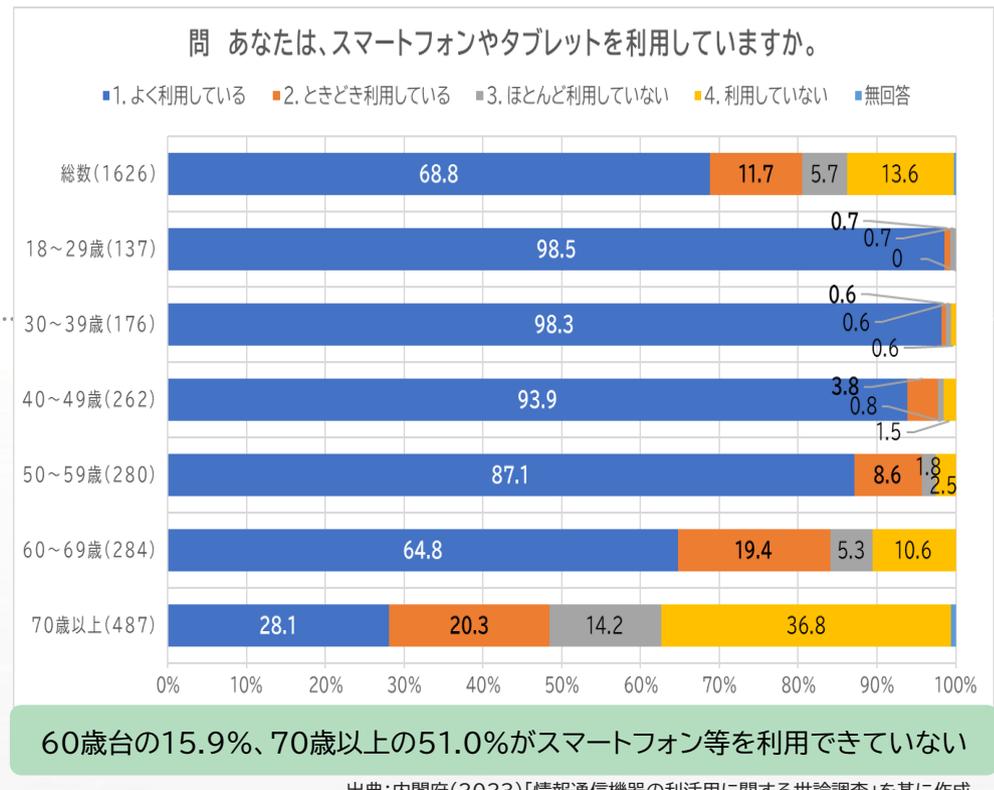
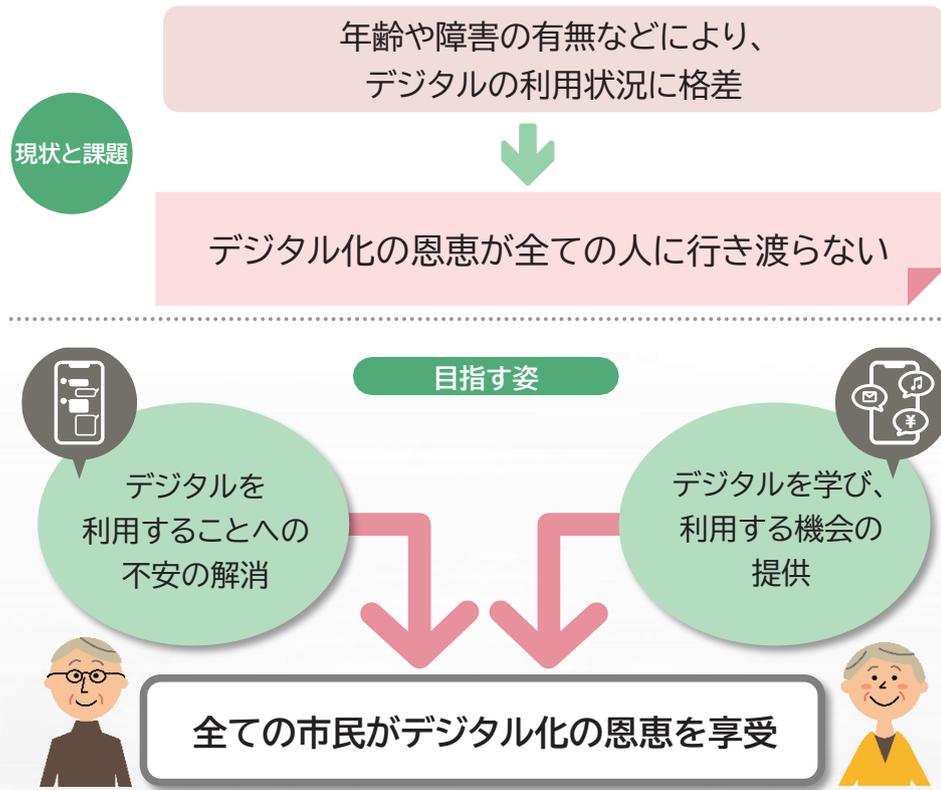
	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)
--	-------------------	-------------------	-------------------	--------------------	--------------------



### 3. 学びがスマート!

No. 17

## デジタル格差(デジタルデバイド)の解消



**実現に向けた取組み**

- 高齢者などを対象としたスマートフォン講座の開催
- 操作方法などの疑問解消のためのスマートフォン相談会の開催



**ロードマップ**

令和7年度(2025年度) 令和8年度(2026年度) 令和9年度(2027年度) 令和10年度(2028年度) 令和11年度(2029年度)



### 3. 学びがスマート!

No. 18

## デジタルミュージアムの推進

現状と課題

コロナ禍による観覧者などの減少



アクセシビリティの向上

文化財・歴史的資料の公開数拡充

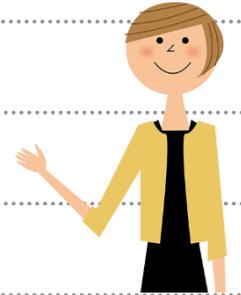


知の拠点としての機能強化

少子高齢化の進行



無形文化財の後継者育成や郷土芸能の伝承支援



#### 実現に向けた取組み

千葉市美術館	1	所蔵作品のデジタルアーカイブ化
	2	デジタル化した作品のホームページ(高精細ギャラリー)での公開、企画展での展示・活用
千葉市科学館	3	オンラインを活用したリニューアル展示等の紹介
	4	AR技術を活用した展示の導入
千葉市デジタル平和資料館	5	平和啓発に関連する特設サイトの開設
千葉市立加曽利貝塚博物館	6	新博物館整備におけるデジタル技術を活用した展示内容の検討
千葉市立郷土博物館	7	デジタル技術を活用した展示内容のリニューアル

#### ロードマップ

	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)
1	実施				
2	検討・実施				
3	実施				
4	実施				
5	開設				
6	検討・実施	開館準備			
7	準備	リニューアル開館			

### 3. 学びがスマート!

## No.19 電子図書館(Digital library)の構築

現状と課題

窓口業務などの効率化



先進技術を活用した利便性の高いサービスの提供



#### 実現に向けた取り組み

- 1 インターネットによる利用登録(電子申請)
- 2 自動貸出機の導入
- 3 AIチャットボットの導入
- 4 地域情報・オーラルヒストリーのデジタル化推進
- 5 電子書籍の充実
- 6 オンラインデータベースによるレファレンス機能の充実



#### ロードマップ

	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)
1			実施		
2			実施		
3		検討		実施	
4			実施		
5			実施		
6			実施		

## 4. まちがスマート!

No. 20

# スマート動物園の実現

現状と課題

入園者数の減少

展示内容の陳腐化

施設の老朽化



「種の保存」・「調査研究」・「教育・環境教育」・「レクリエーション」の4つの領域におけるプレゼンス向上

公園機能の高度化



目指す姿

テクノロジーを活用した動物などに関する学術的向上

知的欲求の連鎖を起こす仕掛けの構築など

公園環境の整備

新たな顧客体験の創出と来園者サービスの向上

経営改善とマーケティング施策の実施



来園者の「驚きと感動」「癒しと憩い」の実現

「学び」の場としての高度化・発展

経営体質の強化



### 実現に向けた取組み

- 1 リモート環境などを活用した新たな教育コンテンツの開発
- 2 AIを活用した動物生態の見える化による生態検証と新たな観覧スタイルの構築など
- 3 自動運転技術を使った新たなZOOトリップの開発
- 4 IoTを活用した環境エンリッチメントの構築
- 5 再生可能エネルギー利用による居心地のよい環境の提供

### ロードマップ

	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)
1			検討・実証・実施		
2			検討・実証・実施		
3			検討・実証・実施		
4			検討・実証・実施		
5			検討・実証・実施		



# 4. まちがスマート!

No. 21

## ゼロカーボンシティの実現

現状と課題

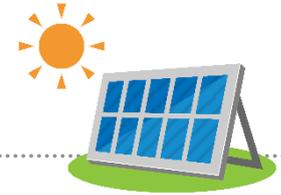
二酸化炭素排出量の増加による気温上昇

豪雨や台風、猛暑など自然災害が激甚化・頻発化



再生可能エネルギー、省エネルギーの促進

環境意識の醸成・行動変容の促進



目指す姿

### ゼロカーボンシティの実現



#### 実現に向けた取組み

- 1 住宅やオフィスの省エネ化(ZEB、ZEH)促進
- 2 EVなどの次世代自動車や充電設備の普及促進
- 3 清掃工場の余剰電力を市有施設で活用
- 4 SNSやマスメディアを活用した普及促進
- 5 脱炭素先行地域事業の推進



#### ロードマップ

	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)
1	実施				
2	実施				
3	調査・設計・整備	実施			
4	実施				
5	実施				

# 4. まちがスマート!

No. 22

## 都市アイデンティティの確立

現状と課題

若・中年層や女性の好意度・理解度が低い

各種イベント・プロモーションの固定化による魅力の低下



- ターゲットを明確にした戦略的なプロモーションの実施
- 社会的変化に対応した各種コンテンツの充実

目指す姿

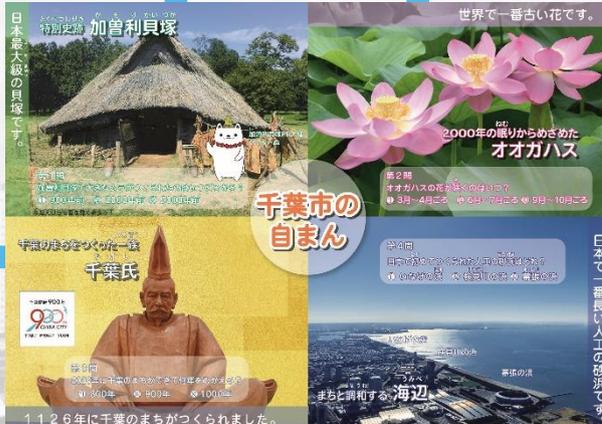
「住み続けたい」「住んでみたい」  
「訪れてみたい」そして「選ばれる」都市へ

千葉氏

加曽利貝塚

オオガハス

海辺



実現に向けた取組み

### 1 千葉開府900年に向けたプロモーション

- ・千葉氏VRゲームの制作 (令和5年度千葉市スマートシティ実証事業)
- ・各種イベントを活用したプロモーション

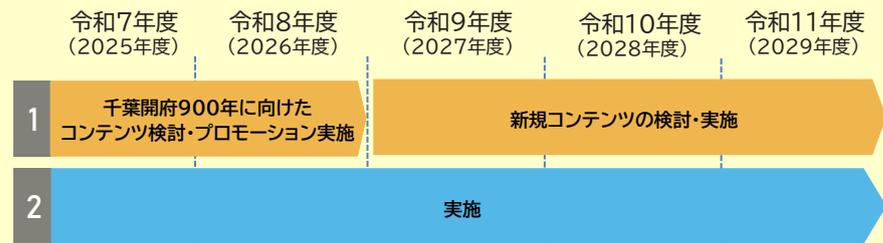
### 2 4つの地域資源の魅力活性化

- ・クラウドファンディングを活用した4資源の新商品開発・事業化支援



VRゲーム体験会の実施

ロードマップ



## 4. まちがスマート!

No. 22

# 幕張新都心の回遊性向上による賑わいの創出

現状と課題

- 拠点間に一定の距離があり、住民・就業者・学生・来街者の回遊性が乏しい。
- 海辺などの観光資源を十分に活用できておらず、国内外からの来街者は多いものの、エリア全体の賑わいが不足



拠点間の移動負担を軽減し、回遊性の向上により賑わいを創出

### 目指す姿

エリア内のすべての人が拠点間をストレスなく行き来し、様々なサービスを容易に利用できる賑わいあふれるまちの実現



### 実現に向けた取組み

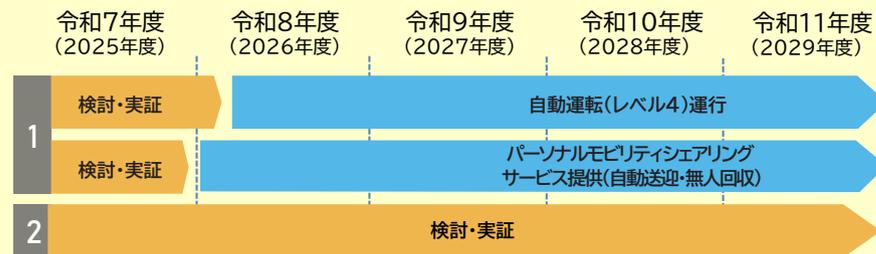
#### 未来技術を活用したモビリティサービスの実現

- 1 ■ 「自動運転バスの運行」や「自動送迎・無人回収可能なパーソナルモビリティシェアリングサービス」の実現に向けて、デジタルツインを活用した自動運転車サービスなどの検討・実証を実施

#### MaaSによる付加価値のある快適な移動の実現

- 2 ■ 新たに実装するモビリティサービスや既存の交通サービスと宿泊・観光・購買・医療サービスを一体的に提供するサービスの実現を目指す
- サービス利便性の向上、ビジネスモデルの構築

### ロードマップ



# 4. まちがスマート!

No.24

## インフラなどの維持管理の効率化及び安全対策の強化

現状と課題

道路・上下水道施設などの安全点検の高コスト化や技術者不足、老朽化の進行に伴う点検・管理業務の増加

気候変動に伴う局地的な大雨や暴風雨の発生頻度の上昇に伴う災害の激甚化のおそれ(道路・橋梁・河川などの安全確保)



インフラへの先端技術の活用により

- 維持管理の高度化・省力化・省人化
- 事前検知による安全対策の強化

### 目指す姿

時代の潮流に合わせた  
インフラ維持管理の最適化による生産性の  
向上・安全なまちづくりの実現



ドローンやMMS、AI  
(画像解析技術など)の  
活用による  
インフラの維持管理





センサー・カメラと  
AIを組み合わせ、  
インフラの異常や危険を  
自動検知



### 実現に向けた取組み

#### 安全点検におけるドローンやMMS、AIの活用

1 明らかに目視確認が必要なインフラを除き、ドローンや M M S で撮影した画像をAIが解析し、その結果を踏まえて修繕を判断するなど、省力化・省人化を実現(事例:マンホール蓋の調査)

#### センサーやカメラの活用による安全対策の強化

2 平時や災害時におけるインフラの状況を監視し、被害の最小化や迅速な市民周知を図るため、必要性の高いインフラから順次センサーや監視カメラを設置するとともに、AIの併用により異常や危険を自動検知するなど、安全対策を強化

### ロードマップ

	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)
1	検討・実証・実施				
2	検討・実証・実施				

# 4. まちがスマート!

No.25

## 安全・安心なまちづくり

現状と課題

● 交通事故件数      遡減傾向  
 ● 刑法犯認知件数    コロナ禍前の水準



● 交通事故の子どもや高齢者の減少幅は小さい  
 ● 少子高齢化の進行などによる地域防犯力の低下



更なる、交通安全意識の向上及び防犯対策の推進が必要



目指す姿

### 誰もが安心できるまち



交通事故を防止するため、先端技術を活用した啓発



カメラを活用した犯罪の防止



実現に向けた取組み

- VRゴーグル等先端技術を活用した交通安全推進
- 犯罪や迷惑行為の抑止、子どもや高齢者などの見守りのため、カメラを設置するとともに、先端技術の活用による犯罪防止策の検討

ロードマップ





# 4. まちがスマート!

No. 26

## ウォークブルの推進

現状と課題

将来に向け、地域の活力やまちの賑わいを創出

地域の固有性を高めて価値を創出することが重要

空き家・空き地の増加による都市のスポンジ化が進行

駅開業に伴う交流人口増加への取り組みの必要性

課題解決に向けた方向性

- まちづくりに積極的に取り組む民間組織と行政が連携し、官民によるパブリック空間を一体的に活用
- 公共空間などを管理運営する新たな担い手として、民間組織が主体となったエリアマネジメント活動の取り組みを推進

目指す姿

多様な人々が集い、出会い、交流する  
「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の創出  
～車中心から「ひと中心」の空間への転換～

実現に向けた取り組み

千葉都心における取り組み

- 千葉公園通りにおけるウォークブル推進  
千葉公園通りにおける、地域主体のホコ天イベントや行政が実施する道路改修など、官民が連携した「ひと中心」の空間づくり
- 千葉駅前大通りにおけるウォークブル推進  
京葉銀行による滞留空間「パレットテラス」の整備や県内企業の実行委員会によるマルシェイベントなど、民間主体の「ひと中心」の空間づくり

幕張新都心における取り組み

- 幕張新都心豊砂地区におけるウォークブル推進  
幕張豊砂駅開業を契機に地区内の企業等と共に組成した実行委員会による、官民が連携した滞在環境整備やイベント等を通じた「ひと中心」の空間づくり

ロードマップ



# 4. まちがスマート!

No. 27

## 美しいまちづくりの実現

### 問い合わせ、回収業務の効率化

現状と課題

再生可能資源の多様化

相次ぐごみの不法投棄



- 問い合わせ、回収業務の効率化
- 不法投棄の対策



目指す姿

テクノロジーを活用し、  
美しいまちづくりを効率良く実現



実現に向けた取組み

- 1 家庭ごみの分別や収集日などの問い合わせを「AI」が24時間365日回答する
- 2 ICTを活用したごみ収集の実施
- 3 回収ボックスにセンサーを設置し、最適なタイミングで回収を実施し、業務を効率化
- 4 不法投棄事例をデータベース化 ▶ AIによる発生予測 ▶ 発生予測箇所の重点的な警戒



ロードマップ

	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)
1			実施		
2			検討		
3	検討		実施		
4		検討		実施	

# 4. まちがスマート!

No. 28

## (仮称)幕張海浜病院の整備

現状と課題

海浜病院の深刻な老朽化

安定的な病院経営



- 新病院の整備
- 将来的な費用負担の軽減を図り、病院全体に要する経費を必要最小限に抑制



新病院完成イメージ

目指す姿

地域の中核的な病院として  
総合的な医療を提供



胎児から高齢者  
まで切れ目のない  
医療の提供

救急医療の強化

災害医療の強化



「地域小児科センター」・「地域周産期母子センター」としての質の高い医療の実施



二次救急医療機関や災害拠点病院としての体制強化

実現に向けた取り組み

### 新病院の整備

- がん診療体制等の強化  
循環器疾患やがん診療など高度専門的な手術に対応するため、ロボット手術室や血管造影装置タイプのハイブリッド手術室の整備を計画
- 効率性・経済性の高い病院  
太陽光発電パネルを設置し再生可能エネルギーを積極利用するとともに、使用した各種エネルギー量のモニタリングなど、省エネルギー化とメンテナンスコストの低減を図る施設整備(BEMS)
- 情報ネットワークの整備  
市民に安心して質の高い医療を持続的に提供していくため、全館に職員用の無線LAN環境を整備するなど、職員がいつでも、どこからでも医療情報システムにアクセス可能なネットワーク環境を構築



### ロードマップ

令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)
-------------------	-------------------	-------------------	--------------------	--------------------



# 4. まちがスマート!

No. 29

## 災害対応力の強化

現状と課題

1 地球温暖化の影響による気候や自然災害の多様化



避難指示などの発令に必要な情報の複雑化

2 少子高齢化の進行



地域の災害対応力が低下

3 大規模災害発生時の職員不足懸念

目指す姿

適切かつ迅速な災害対応が可能に

デジタルの活用

自助機能の向上

共助機能の向上

公助機能の向上

実現に向けた取組み

- 1
  - 職員の参集時間短縮を目的とする、AIを活用した災害対応職員の適正配置
  - 罹災証明業務や避難所開設、被害報告作成などの自動化
- 2
  - 重要施設における電源車の適切な配置や指定避難所の太陽光・蓄電池の整備



ロードマップ



# 4. まちがスマート!

No. 30

## 多様な移動・交通サービスの提供

現状と課題

移動・交通サービスの正確な情報発信  
(運行情報・利用実態など)

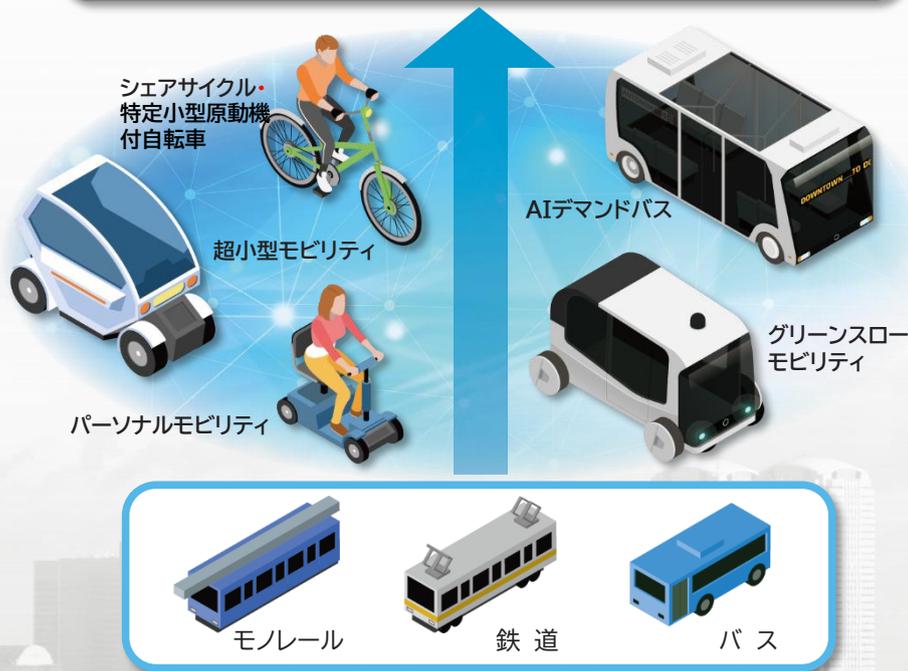
交通弱者をカバーする移動・交通サービス



- 利用者目線による移動・交通サービスの最適化
- 地域特性・移動ニーズに応じた、地域住民の移動手段の確保

目指す姿

既存公共交通と次世代モビリティサービスへの「ベストミックス」



実現に向けた取組み

- 1 公共交通の運行情報などの標準化・オープン化の推進
- 2 次世代モビリティサービスの社会実装に向けた検討



ロードマップ





# 4. まちがスマート!

No. 31

## 多様な観光客に対する質の高いサービスの提供

現状と課題

本市の魅力を直観的に訴求するPRツール  
及び発信媒体の不足



観光資源の訴求力向上と効果的な情報発信

来訪者の動向やニーズに関わる定量的な  
データの不足



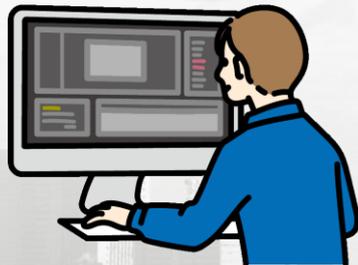
データ収集・分析によるニーズの把握と取組みの展開

目指す姿

テクノロジーの活用による観光振興

先端技術を活用した訴求力向上

ビッグデータを活用したプロモーション



実現に向けた取組み

1

ターゲット層に応じた訴求力あるプロモーション

- ドローン撮影による臨場感あふれる映像等を活用したプロモーション素材の作成
- SNS等を活用し、ターゲット層に応じた効果的な情報発信

2

観光客のニーズの把握・分析によるプロモーション

- ビッグデータの収集・活用による観光客の動向調査・分析
- ビッグデータ分析に基づく新たな観光コンテンツの作成や周遊ルートの作成

ロードマップ

	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)
1	検討	実施			
2	検討		実施		

# 4. まちがスマート!

No. 32

## 3D都市モデルの活用

現状と課題

市民・民間企業と一体となったまちづくりが必要

先端技術の実証における時間や天候の制約



- 3D都市モデルを構築し、市民・民間企業とのイメージ共有
- 現実世界のまちをデジタルツインで忠実に再現し、制約を受けない高度なシミュレーションによる先端技術の実証

目指す姿

行政だけでなく民間企業や住民の活用によりまちづくりのDXを加速化

3D都市モデルの構築とオープンデータ化

先端技術や住民参加イベントへの活用

実現に向けた取組み

### 3D都市モデルの構築・オープンデータ化

市民・民間企業と一体となったまちづくりを進めるため、市の3D都市モデルを作成し、オープンデータとして公開する。

### 様々な分野でのユースケースの実施

様々な分野の業務に3D都市モデルを活用することで、3D都市モデルの提供価値である「再現性」、「可視化」、「双方向性」という特性を活かし、課題解決や新たな価値の創出を図る。

### 自動運転実証における活用

幕張新都心エリアの一部で仮想空間上に再現するデジタルツインを構築することで、時間や天候などの制約を受けることなく、仮想空間上で多様なシチュエーションを設定し、自動運転実証を行う。

ロードマップ

	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)
1	市内全域の構築を検討	市内全域の3D都市モデルの構築・更新を実施 市内における3D都市モデルの活用を検討・実施			
2	自動運転実証実験への活用、その他サービス等民間事業者による活用				

1

2



# 4. まちがスマート!

No. 33

## MICE開催促進と新たな価値創造

現状と課題

MICE主催者のニーズが変化するとともに都市間の誘致競争が激化している

観光客による観光など市内周遊に乏しい



MICE開催都市として選ばれるための支援の充実



分析データのエビデンスに基づく新たなコンテンツを造成

目指す姿

MICE開催を契機とした  
地域経済の活性化及び消費拡大



市内観光に繋がる  
新たな観光コンテンツ

MICEの誘致による  
国内外からの来訪者や  
イベントの増加



実現に向けた取組み

### 多様なMICEへの支援

1

- ・eスポーツやアクションスポーツ等のイベントへの開催支援
- ・サステナブルメニューやアフターコンベンション等への支援
- ・MICE開催における脱炭素の取組みの推進

### 市内周遊に繋げるコンテンツ造成

2

- 市内観光施設の来訪者データの収集及び分析による観光マーケティングに基づき新たな観光コンテンツを造成

ロードマップ

	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)
1	支援				
2	検討・実施				

1

支援

2

検討・実施

## 5. 市役所がスマート!

# No. 34 行かなくていい、待たなくていい、使いやすい市役所の実現

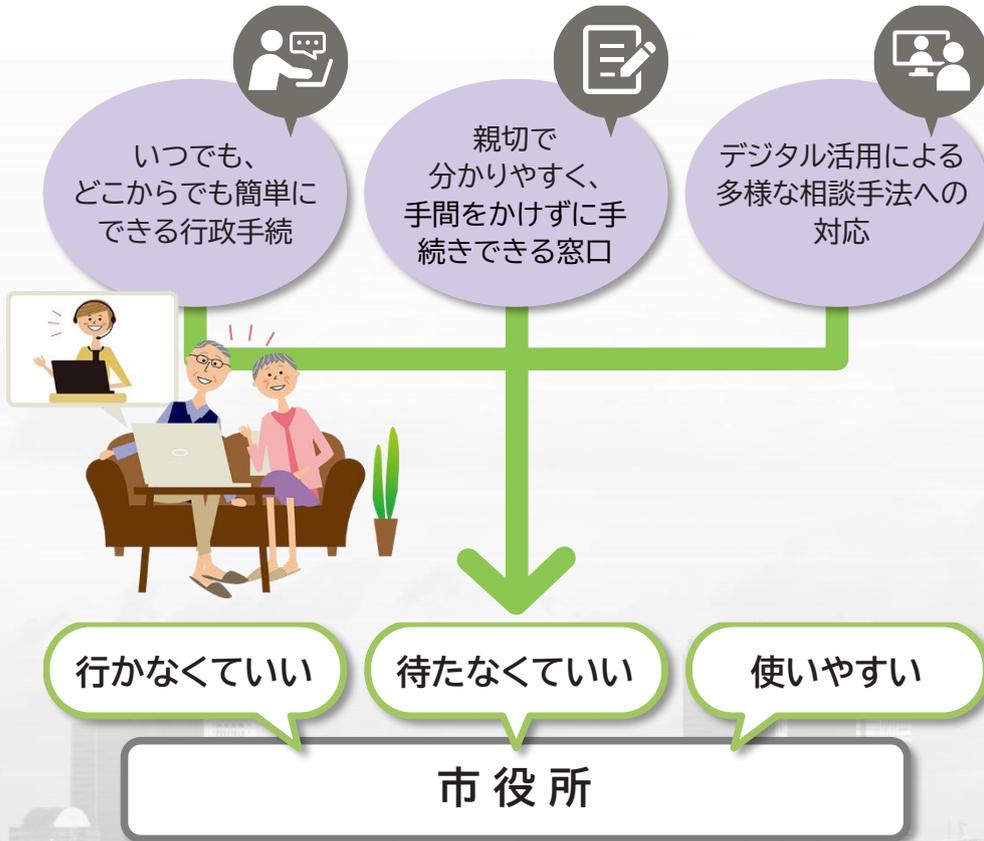
現状と課題

市民が市役所に  
合わせなければ  
ならない

- 市役所の指定する場所と時間でなければ手続きができない
- 窓口で多くの申請書を書かなければならない
- 窓口での丁寧な説明などのサービスを希望する市民は、窓口で待たなければならない
- 窓口での説明が不要な市民でも、窓口に行かなければならない
- キャッシュレス決済ができない窓口がある
- 申請書の様式がばらばらで分かりにくい



目指す姿



実現に向けた取組み

- いつでも・どこからでも・簡単にできる行政手続
  - オンラインでも申請ができる手続を拡大し、市民や事業者がいつでも、どこからでも様々な手続ができる環境を整備
- 市役所に行かなくても相談などが可能に
  - デジタル技術を活用し、市役所に出向くことなく、市民や事業者と市との様々な相談などが可能となる環境を整備
- キャッシュレス決済の拡充
  - 窓口でのキャッシュレス決済が可能となる環境を整備
- 手書きの負担を最小限にし、よりスムーズな窓口
  - 書かない窓口を導入し、手続きの負担を軽減する
  - わかりやすく、迷わない窓口の実現のため、フロアレイアウトを変更する

ロードマップ

	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)
1	申請様式の順次検討、オンライン申請の運用・拡大				
2	運用・拡大				
3	順次拡充	キャッシュレス決済が可能な窓口の運用			
4	準備	書かない窓口の運用			

## 5. 市役所がスマート!

No.35

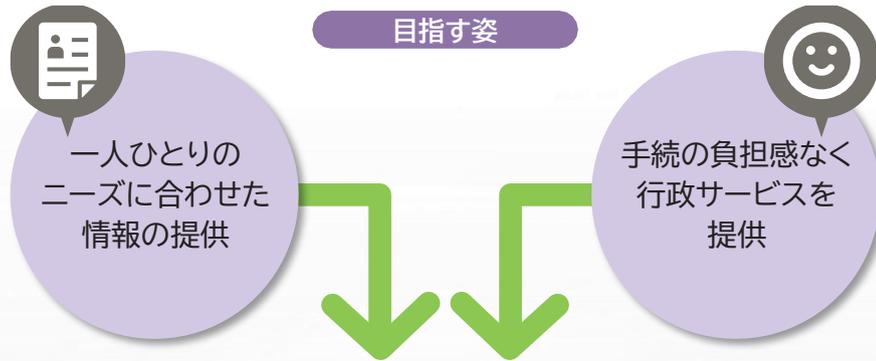
## 一人ひとりのニーズに合った行政サービスの提供

現状と課題

- 忙しくて時間のない方が予防接種や健診の申請を忘れてしまう
- 制度を知らなかったことにより、制度利用の機会を逃してしまう
- 制度について検索したり、問い合わせることが負担



対象者が自ら調べなくても、  
受給機会を逸することのない  
仕組みづくり



受給漏れがなく、簡単に  
行政サービスを受けられる状態



## 実現に向けた取組み

## 一人ひとりのニーズに合ったサービスの提供

1

- 市民が受給できる行政サービスについて、受給対象となる可能性のある方に対し、個別にお知らせするサービスを提供する
- 対象制度を拡充し、通知から申請、給付までを切れ目なく完了できるなど、更なる利便性の向上を目指す

## 手続の負担感なく受けられる行政サービスの提供

2

- 申請などの手続の負担感なく、行政サービスを提供する仕組みについて検討を進める

## ロードマップ

	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)
1	通知対象サービスの拡充などの検討・実施				
2	検討・可能なものから一部実施				

## 5. 市役所がスマート!

## No. 36 市役所業務における先端技術の活用によるBPRの推進

現状と課題

今後、人口減少により人材確保が困難になっていくとともに税収減が見込まれる中、市民ニーズは多様化・高度化している

一方で、大量の事務を迅速に処理することができなければ、行政サービスの提供に支障が生じるおそれがある



先端技術の活用により業務を効率化

目指す姿



職員が付加価値の高い業務に専念し、市民のニーズに対応



- より市民に寄り添った行政サービスが可能となる
- 市民の利便性が向上する



実現に向けた取組み

## 業務への先端技術の活用

1

■ RPAなどの活用による自動化が可能な定型業務やAIなどの活用による半自動化が可能な非定型業務について、コスト比較などを行った上で、導入を推進

2

■ 導入に当たっては、あらかじめ業務プロセスの再構築を行い、業務全体を最適化

■ 内部事務系システム(財務会計、庶務事務、人事給与等)を最適化し、業務を効率化

ロードマップ

令和7年度  
(2025年度)令和8年度  
(2026年度)令和9年度  
(2027年度)令和10年度  
(2028年度)令和11年度  
(2029年度)

1

検討・可能なものから随時実施

2

システム構成及び更新時期の検討・個別計画策定・システム更新

## 5. 市役所がスマート!

No. 37

# データ活用を通じた多様な主体との協働の推進

現状と課題

- 複雑化する社会において、市民ニーズは多様化・高度化し、行政だけでは対応が困難な状況に変化
- 地域課題の解決には、多様な主体の参画が不可欠であり、更なる協力体制の構築が必要である
- 市が公開するデータのファイル形式などが利活用に適しておらず、多様な主体による利活用が進んでいない
- 多様な主体が必要とする市保有データが公開されていない

目指す姿

市が保有するデータは、利活用しやすいデータ形式で積極的にオープン化

多様な主体が自発的な公共サービスの担い手として参画

- 市と多様な主体とが連携することで、市民ニーズに対応した公共サービスが提供される
- 新たな産業やサービスが創出され、市民の利便性が向上する



実現に向けた取組み

### 1 市保有データのオープン化などの推進

- 市が保有する情報を積極的に公開し、そのままでは、公開できない情報についても適切な加工をした上での提供を検討することにより、データ利活用を推進する
- データ利活用に適したファイル形式や標準的なフォーマット仕様を検討し、推進する

### 2 シビックテック団体などとの連携

- シビックテック団体や企業、他の地方公共団体などとの連携により、オープンデータの具体的な活用策を検討し、活用事例を増やす

ロードマップ



# 参考:用語解説

行	用語	解説
あ	アクセシビリティ	利用者が機器・サービスを円滑に利用できること。
	アクセラレーションプログラム	スタートアップ企業等に対して実施する、外部メンターによる短期・集中的な経営支援プログラム。
	アフタースクール	原則として小学校敷地内において、放課後児童クラブ及び放課後子ども教室を一体的に運営するもの。保護者の就労状況等に関わらず、希望するすべての児童に安心・安全な居場所を提供するとともに、多様な体験・活動の機会を提供する。
	インセンティブ	個人などの意思決定主体がある行動を起こす原因となるもののこと。
	ウェアラブル	「着用できる」、「身に付けられる」という意味の言葉です。IoTの用語では、例えば「デバイス」という言葉と合わせて「ウェアラブルデバイス」といった使われ方をし、身に付けて使う情報機器の総称。ウェアラブルデバイスには、リストバンド型や腕時計型、眼鏡型などがある。
	ウォークابل	道路・公園・民有地などを一体的に活用し、ひと中心の豊かな生活を実現するために、都市全体として「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の形成を目指す取組みのこと。
	エコロジー	環境保全や地球環境に負荷をかけないという意味で用いられ、自然環境保護運動や、人間生活と自然との調和、共存をめざす考え方のこと。
	エリアマネジメント	地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための、住民・事業主・地権者等による主体的な取組みのこと。
	オープンデータ	行政等が保有するデータを、機械可読形式で、かつ、誰もが二次利用可能である旨の著作権意思表示を行い、公開したデータのこと。
	オーラルヒストリー	歴史研究のために関係者(地域住民)から直接話を聞き取り、記録としてまとめること。
か	カーボンニュートラル	二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量と森林などによる吸収量との差し引きが全体としてゼロになること。なお、千葉市では令和2年(2020年)11月20日に「千葉市気候危機行動宣言」を発出し、2050年の二酸化炭素排出量実質ゼロを目指している。
	環境エンリッチメント	動物の環境や管理方法を、動物の生息環境や行動に基づいて改善・向上させるための工夫のこと。
	環境モニタリングシステム	気温や温度など、農作物管理に必要なデータを一元化し、農作物のおかれている環境を見える化するシステム。
	クラウドファンディング	「群衆(クラウド)」と「資金調達(ファンディング)」を組み合わせた造語で、「インターネットを介して不特定多数の人々から少額ずつ資金を調達する」こと。
	グリーンスローモビリティ	時速20km未満で公道を走ることができる4人乗り以上の電動車のこと。
	国家戦略特区	産業の国際競争力の強化や国際的な経済活動の拠点の形成を促進する観点から、規制改革等の施策を総合的かつ集中的に推進するため国が指定する区域のこと。本市は、平成28年(2016年)1月に指定されている。
さ	サステナブル	「持続可能な」(Sustainable)という意味。
	シェアサイクル	広く自転車を利用する交通システムを指す。近年、情報通信技術を活用し、都市内にある複数のサイクルポートでの自由な乗降や、スマートフォンを使用した利便性の高い貸出・返却、決済が可能なシステムとして、多くの都市で導入されており、新たな交通システムとして注目を集めている。

# 参考:用語解説

行	用語	解説
さ	シェアリングエコノミー	個人等が保有する活用可能な資産等をマッチング事業者を介して他の個人等も利用可能とする経済活性化活動。
	シビックテック	Civic(市民)とTech(テクノロジー)を掛け合わせた造語。市民がテクノロジーを活用して、地域が抱える課題を解決しようとする取り組みや考え方。
	シビックプライド	都市に対する市民の誇りのこと。しかし単なるまち自慢や郷土愛ではなく、「ここをよりよい場所にするために自分自身がかかわっている」という、当事者意識に基づく自負心を意味している。
	自立分散型エネルギー	地域内で分散して配備された小規模なエネルギー源から電力を供給するシステムのこと。
	スマートシティ	ICT等の新技術や官民各種のデータを活用した市民一人一人に寄り添ったサービスの提供や、各種分野におけるマネジメント(計画、整備、管理・運営等)の高度化等により、都市や地域が抱える諸課題の解決を行い、または新たな価値を創出し続ける持続可能な都市や地域。
	スマート農業	ロボット技術やデジタル技術を活用し、農産物の栽培過程や収穫作業の省力化、品質管理を行う農業のこと。
	ゼロカーボンシティ	2050年に二酸化炭素の実質排出量ゼロ(温室効果ガスの人為的な発生源による排出量と、森林等の吸収源による除去量との間の均衡)に取り組むことを表明した地方公共団体。
	センシング	センサーと呼ばれる検知器によって測定対象を計測し、定量的な情報を取得する技術のこと。
	た	チャットボット
デジタルアーカイブ		図書・出版物、公文書、美術品・博物品・歴史資料等公共的な知的資産をデジタル化し、インターネット上で電子情報として共有・利用できる仕組みのこと。
デジタルツイン		現実空間の物体・状況を仮想空間上に「双子」のように再現したもの。製造業やヘルスケアなど多様な分野でのシミュレーションや最適化及び効果・影響・リスクの評価などでの活用が進んでいる。
デジタルデバイド		インターネットやパソコン等のデジタル技術を利用できる者と利用できない者との間に生じる格差のこと。
デマンドバス		あらかじめ決まった時間帯に決まった停留所を回るのではなく、予約を入れて指定された時間に指定された場所へ送迎するバス交通サービスのこと。
特定保健指導		生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣の改善による生活習慣病の予防効果が多く期待できる方に対して、専門スタッフ(保健師、管理栄養士など)が生活習慣を見直すサポートをすること。
都市アイデンティティ		千葉市固有の「千葉らしさ」を意味し、本市ならではの魅力や独自性を活かして都市戦略として中長期的に一貫性や統一感をもって市内外にアピールすることで、市民の愛着や誇りの醸成のもとに本市の都市イメージとして定着させていくこと。
な	ナッジ	行動科学の知見から、自発的に自身にとってより良い選択を取れるように手助けする手法のこと。例えば、がん検診・特定健診の勧奨はがきに「およそ8割の方が受けています！」などと記載することで、行動を起こすためにそっと後押しする工夫のこと。
	二次元コード	縦・横二方向に情報を持つことができ、バーコード(1次元コード)と比べて小さな印字面積で非常に大きな情報を持たせることができるコード。代表的なものに「QRコード®」がある。

## 参考:用語解説

行	用語	解説
は	パーソナルモビリティ	主にバッテリーを動力源とした1人乗りの簡便な乗り物や移動機器。
	バイオマス	生物資源の量を表す概念で、エネルギーや物質に再生が可能な、動植物から生まれた有機性の資源(化石燃料は除く)のこと。具体的には、農林水産物、稲わら、もみがら、食品廃棄物、家畜排せつ物、木くずなどを指す。
	ビッグデータ	デジタル化の更なる進展やネットワークの高度化、またスマートフォンやセンサー等IoT関連機器の小型化・低コスト化によるIoTの進展により、スマートフォン等を通じた位置情報や行動履歴、インターネットやテレビでの視聴・消費行動等に関する情報、また小型化したセンサー等から得られる膨大なデータ。
	フードテック	生産から加工、流通、消費等へとつながる食分野の新しい技術及びその技術を活用したビジネスモデルのことである。バイオテクノロジーやデジタル技術等の科学技術の発展に伴い、人口増加に対応した食料供給や環境保護等の社会的課題の解決につながる新たなビジネスとして、また健康志向やアレルギー対応等、食に求める人々のニーズの多様化に対応する新たなビジネスとして、世界的に期待が高まっている。
	プラットフォーム	「舞台・壇上」等を意味する英語(platform)から転じて、様々な施策やサービスの「基礎」や「基盤」の意味で用いられる。
	フレイル	加齢により心と身体の活力が弱まった状態。健康な状態と日常生活でサポートが必要な状態の間を意味し、加齢により生じやすい衰え全般のこと。
	プレゼンス	人や物の所在・位置情報を把握するための技術のこと。
	ボーンデジタル	制作された時点で電子媒体での利用を前提としたデジタルフォーマットとなっているコンテンツ、あるいはそのコンテンツの制作フローをいう。
ま	モビリティ	「動ける」「移動型の」「機動性のある」「流動性がある」などを意味する。交通分野において、モビリティは人の移動やモノの輸送などを指す。
ら	ラストワンマイル	バス停や駅から自宅までの間など、到着場所から最終目的地までの比較的短い距離の移動手段。
	レジリエンス	様々な危機からの回復力、復元力及び強靱性(しなやかな強さ)のこと。
	レファレンス	図書館の資料を使い調べものをサポートするサービスのこと。
英	AI	Artificial Intelligence(人工知能)の略。人間の思考プロセスと同じような形で動作するプログラム、あるいは人間が知的と感じる情報処理・技術といった広い概念で理解されている。「画像認識」や「音声認識」、「自然言語処理」など多岐にわたる分野に応用されている。
	AR	Augmented Reality(拡張現実)の略。現実の環境にコンピューターを用いて情報を付加することにより人工的な現実感を作り出す技術の総称のこと。
	BEMS	Building and Energy Management System(ビル・エネルギー管理システム)の略。室内環境とエネルギー性能の最適化を図るためのビル管理システムを指す。
	BPR	Business Process Re-engineering(業務改革)の略。既存の非効率的な業務プロセス全体を抜本的に見直し、再構築していく経営戦略を指す。
	DX	Digital Transformationの略。企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。
	EC	Electronic Commerce(電子商取引)の略。インターネット上でモノやサービスを売買する取引全般を指し、1990年代後半にサービスが開始されて以来、スマートフォンなど身近なIT端末の普及や共働き世帯の増加といった社会構造の変化と共に、多くの人にとって日常的な取引形態となっている。
	EV	Electric Vehicle(電気自動車)の略。電池によって駆動する電動機のみを動力とし、内熱機関を併用しない自動車のこと。

## 参考:用語解説

行	用語	解説
英	FCV	Fuel Cell Vehicle(燃料電池自動車)の略。燃料電池で水素と酸素の化学反応によって発電した電気エネルギーを使って、モーターを回して走る自動車。ガソリン車がガソリンスタンドで燃料を補給するように、FCVは水素ステーションで水素を補給する。
	ICT	Information and Communication Technology(情報通信技術)の略。インターネットを通じて人とコミュニケーションをとる技術のこと。
	IoT	Internet of Things(物のインターネット)の略。自動車、家電、ロボット、施設などあらゆる物がインターネットにつながり、情報のやり取りをすることで、モノのデータ化やそれに基づく自動化等が進展し、新たな付加価値を生み出す。
	MaaS	Mobility as a Serviceの略で、地域住民や旅行者一人ひとりのトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービスのこと。
	MICE	企業等の会議( Meeting )、企業等の行う報奨・研修旅行 Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議( Convention )、展示会・見本市、イベント Exhibition/Event )の頭文字をとった言葉で、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。
	MMS	Mobile Mapping Systemの略。走りながら空間情報を取得する測量システム。車両に計測機やデジタルカメラ等を搭載しており、これらにより道路面および道路周辺の座標データと連続した画像を取得することで、道路空間を効率的に測量できるもの。
	OCR	Optical character recognition(光学文字認識)の略。活字、手書きテキストの画像を文字コードの列に変換する技術。
	RCP	Representative Concentration Pathways (代表的濃度経路)の略。今後、世界全体で排出する温室効果ガス排出量の増減により、気候変動の予測や影響評価を行うためのシナリオで、RCPに続く数値が大きいほど2100年における地球温暖化を引き起こす効果が大きいことを意味する。
	RPA	Robotic Process Automation(ロボットによる業務自動化)の略。端末上で行う作業を自動化することができるソフトウェア又は SaaS 等の形態のプラットフォーム。自動化可能な対象は、製品によって異なる。
	SDGs	Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略。2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す持続可能な開発目標のこと。貧困の根絶、ジェンダー平等、気候変動対策などの17のゴールと169のターゲットを定めている。
	SNS	Social Networking Serviceの略。登録された利用者同士が交流できるWEBサイトの会員制サービスのこと。
	Society5.0	サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会であり、わが国が目指すべき未来社会の姿として国が提唱しているもの。
	STEAM教育	科学(Science)、技術(Technology)、工学(Engineering)、芸術(Art)、数学(Mathematics)の5つの分野を統合的に学ぶ教育のこと。
	VR	Virtual Reality(仮想現実)の略。コンピューターによって創り出された仮想的な空間などを現実であるかのように疑似体験できる仕組みのこと。
	Well-Being	個人の権利や自己実現が保障され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあることを意味する概念。
	Wi-Fi	Wireless Fidelityの略。ケーブルを使わず無線通信を利用してデータをやり取りする仕組み。
	ZEB	Net Zero Energy Buildingの略。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のこと。
	ZEH	Net Zero Energy Houseの略。住まいの断熱性能や省エネ性能を向上し、さらに太陽光発電などで生活に必要なエネルギーをつくり出すことにより、年間の一次消費エネルギー量(空調・給湯・照明・換気)をおおむねゼロ以下にする住宅のこと。